

幼児の教育

家庭・保育所・幼稚園

第五十三卷 第五號

昭和二十九年四月二十五日印刷
日本国有鉄道特別扱承認雜誌第六八三號
幼児の教育 第五十三卷 第五号 (毎月一回) 日発行



日本幼稚園協會

5



新しい感覚の昔ばなし絵本決定版！
全12集がそろいました！

★さざなみ童話絵本 全12集

トツパンの絵本



- | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|----------|----------|--------|-------|--------|-------|----------|---------|--------|
| ① 一寸法師 | ② こぶとり | ③ さるとかに | ④ さるとくらげ | ⑤ はなさかじい | ⑥ 浦島太郎 | ⑦ 金太郎 | ⑧ したきり | ⑨ 桃太郎 | ⑩ ねずみのよめ | ⑪ かぐやひめ | ⑫ 文福茶釜 |
| 黒崎義介 | 鈴木寿雄 | 林義雄 | 安泰 | 林義雄 | 黒崎義介 | 黒崎義介 | 河目悌二 | 林義雄 | 鈴木寿雄 | 黒崎義介 | 川上四郎 |
- 各50円

東京日本橋茅場町一〇二〇

トツパン

振替東京四一六四七

幼児生活調査表 (幼稚園用)

児童調査研究委員会

名古屋大学教授 依田 新
東京大学教授 宮原誠 共
東京学芸大学教授 阪本一郎
お茶水大学名誉教授 倉橋惣三 編
東京学芸大学助教授 堀内敏夫

A 四版・四頁
定価 一部 拾円
四十部一組
使用説明封附 四百円

本調査は左の目的で作製されております

- 一、幼児指導要録を記入しなければならない基礎資料を獲得するため。
- 二、新入園児および在園児の生活環境を明らかにすることにより、園児の理解を一層深めるため。
- 三、幼稚園教育におけるガイダンスの具体的な手がかりを得るため。従つて新入園児選考の場合にも直に役立ちます。

東京都千代田区西神田二ノ二五

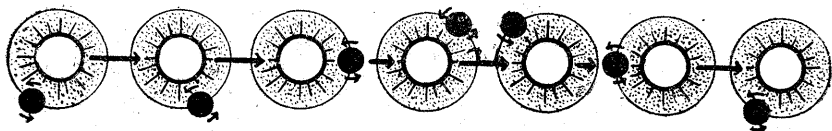
発行所 株式会社 刀江書院

電話九段(33)四五〇九番
振替口座 東京一八三一〇六番

53卷 5号

正 誤 表

頁	側	段	行	誤	正
2	右	1	1	3.52.2	325.2
"	"	6	4	編者	大阪府立商工技 術研究所
4	左	7	4	(昭和29(1954))	(昭和29(1954))
6	右	3	5	391p. 附表 22cm	391p. 22cm
7	左	3	5	523 p.	523 p. 26cm
"	"	4	5	附6巻、3・一カ	附6巻、3・一カ
"	"	5	1		573.8(S)左2カ
8	左	3	2	(卸 売)	(卸 商)
9	"	4	2	Random	Random
10	"	"	5	Illus.	illus.
12	右	2	2	Bureau	Bureau
13	以不 刊定期 行物		8	水大結果表	水大結果表



幼児の教育 目次 第五十三卷第五号

表紙 猪熊弦一郎

愛情への一つの道 及川ふみ 2

ア ン ケ ー ト
—— 先生方の声を集めて ——

幼稚園教育で何が一番重要か 編集部 6

幼児の宗教教育 エム・エフ・スクールトン 18

□座談会□ 仮性精神薄弱児 24

職員室の精神衛生 先生方のために 平井信義 31

☆この頃の私の幼稚園☆ 内匠慶子 34

保育所生活三十年 篠田加津子 37

幼児の言葉から 加藤清子 40

講座 粉乳の正しい知識 稻垣長典 42

小さいあげはの子 鈴木正子 47

童話

編集員	三友雄太郎	及川ふみ	藤文俊郎	雄
主編	倉橋義鉄	波多野完治	山下	郎
協力員	倉牛多西			
編集員	山浪太郎			

(五十音順)

発 行 日 本 幼 稚 園 協 會



愛情への一つの道

及川ふみ

春まだ淡いころ、幼稚園の裏庭の椿、今年は例年より数多くの蕾をつけたとよろこんだのもつかの間、今日はその蕾が一つのこらずも取られて、二人の女の子のエプロンのポケットの中一ぱいにつめてこまれた。「これこんなに、かたい実、たくさんとって来ましたよ」と得意げなこどもの姿。

初夏の保育室に、乏しい材料費の中から、金魚鉢と、五匹の金魚をととのえて、こどもも、大人も楽しんだ。二三日子どもの帰ったあと、金魚は一匹もみえなくなった。ふしぎでならなかった。翌日お母さんの一人が、子どもが昨日幼稚園の金魚をポケットに入れて帰ってまいりました。かわりの金魚でございまして、可愛い金魚鉢に金魚を五匹入れてもってこられて驚いた。

五月初旬、八十八夜の日に、組中のこどもたち一人一人が鉢植に、つるなしいんげんを蒔いた。もち主の名のかいた経木のたて札も立て終って、友達の誰もが次の遊びにうつった。一人だけ自分の鉢の前にしゃがんでいつまでも鉢から眼をはなさない。どうしたことかとたずねると「いんげん豆の芽の出るのをまっっているのだ」とい

った。

椿の蕾のこと、ポケットの金魚の事件、いんげん豆の芽、等子供たちと日常一緒に遊んでいる間には、これに類する大小の様々の出来事にそうぐうすることがある。その度毎にいつも大人は、子どもの身近近い環境に、自然の動植物を豊かに備えて、これ等に対しての、親しみと、愛撫の気持の育成の不足を強く感じさせられると共に、これ等に対しての程よき適當の指導が用意されなければならないと思われる。

ことに都会地域ではとくにこの点の配慮が多くむけられなくてはならない。

しかしこれには、経済的事情が直接に大きくつながる問題であることが一つと、今一つはその飼育栽培にあたる適当な人を得るという問題である。動植物の飼育栽培に対する充分な知識をもつことの上に、さらに多くの労力を必要とするのでこれにたえられて、これ等を育成する豊かな愛情の所有者であることなどの注文条件も多いので、実際問題としては種々の困難がともないがちである。しかしこのことは幼稚園の保育室の内外の環境として第一にとりあげられる重要な基本的なものであるべきはずのものであらう。

先日よき機会を得て、岡山大学附属幼稚園を參觀することが出来た。日当りのよい、眺望の美しい場所で、保育室も、遊園も、幼児等に比して広々とした面積で、幼稚園の基準などよりは、はるかに広いものである。その保育内容の様子もしのばれる施設や、設備の工夫もなされていて、岡山県の保育界のサービス・センターとして復活されたこの幼稚園の実況をみてたのしくも、うれしく感じた。阪本教育学部長や、小松原園長、縦野教諭方の御熱意と御苦労も、うかがわれた。

とりわけ小松原園長は、次々と施設の抱負を語られるお話の中に規模の大きな禽舎を作って、多くの小鳥を飼育し附屬の中学校から、小学校、幼稚園までの各部に希望に応じて、かし出すことを計画している。飼育にあた

る人についても、責任者を一人定めておいて、餌のこと、休日中の世話などに手落ちのない様に考えていると語られた。小松原園長はさすがに理科専攻の御出身だとなうなすけた。この計画が着々と進められて、その成果が後進の爲によりき指導を与えられることを願ってやまない。

当園でも、二十数年前ここ大塚の地に移転の際には、広い面積の学園の内に、子どもたちの自然の庭として、春には、すみれ、たんぽぽ、つくし、なづな、の花を思い、秋に、どんぐり、しいのみ、くりの实のおちる林も考えたが、なかなかその夢もさめて、ただ学内の園芸場へ、しばしば遊んで、四季折々の草花の美しく咲くのをみへちま、かぼちゃ、トマト、なす、きうりなどの野菜の生育を眺める程度のものである。

遊園の木々も年毎に、育ってこんもりとした植込みになったこと、豊島ヶ岡御陵地、護国寺などの森の近くにあることなどで子どもたちの引きあげた静かな遊園には、四季折々の小鳥、大鳥類が飛来して様々の姿をみせてくれる。からす、つばめ、はと、すずめ、の類はもとより、こじゆ鶏、やまとり、もづ、せきれい、など居残つてお迎えをまつ数人の子どもたちとあかす眺める風景である。

相当の経費によって、鳥小屋の修理も終った。扉をあけて、餌をまいておけばこの自然の訪客のいずれかが宿をとることかとも期待した。雀くらいはと当てにもしたが、一向に入ってくれる様子もない。このことを小鳥の飼育にあかるい知人に話したところ雀こそ最も飼育のむずかしい鳥であることを聞かされて、がっかりした。そしておいしいことではあるが当分庭の大きな鳥小屋の空家そのままとして、保育室での小さい鳥籠の飼育でがまんしなければならぬ。今状態である。

子どもの親しみやすい、動植物を身近かに備えることには、様々な困難がともなうので、どちらの幼稚園でもその企画通りにはならないことが多い。つとめて、動物園、植物園、公園、園芸場、飼育場、小鳥屋さんなどこ

の種の適宜の場所を見つけて、園外保育のかたちによってこののぞみを満すようにでもしたい。大きい望みは果されないにしても、決してこの望みを失ってはならない。

この頃簡易になされている、窓園芸、保育室の窓に、植木鉢、硝子瓶、あきかん、みかん箱の類、この草花、蔬菜の栽培、金魚や、おたまじやくしの飼育などによっても、子どもたちにこのふんいきになじませることが出来ることであろうし、又保育室を二つ三つ以上も幼稚園では、その取扱いの方法によっては、質的にも、量的にも、より効果的にすることも考えられる。各組の話し合いの上で、異つた材料を用意して、お互に見せ合ったり、交換したりすることなどによって、狭きものも広く役立たせることも可能になる。

子どもの自然のものに対する関心は、それに接触する、少い時間、少い回数では育つものではない。毎日毎日いつくしむことによって、それを知り、知ることによってそれをいつくしむというのでなければよく育たない。急に眼前に美しい花があらわれても、その美しさを知っても、その花を愛撫する念は弱い。他人の丹精した公園の花、垣根近くにさく花のたやすく手折れているのを見ても、この愛撫の気持を育成こそ最も大きなねらいであろうと思われる。

幼稚園期の子どもの「自然」への指導の目標をどこにおくかを考える時、花の名を知り、花瓣の数を数えることは、こどもの知的理解の要求の進むに従つて、与えるもので、どこまでも、子どもらしく、自然のものに対する愛情を育成することがその大きなねらいである。

しかも、この育成は幼稚園の子どもの経験内容のいずれよりもはるかに、地味なものであり、又時間的にも、相当ながい眼で誘導しなければならぬ性質のものである。

大きな幼稚園教育指導の大切な芽が小さい、いろいろの雑草によつて妨げられてはいないではなからうか。

幼稚園教育で何が一番重要か

——先生方の聲を集めて——

編

集

部



最近、我が国で幼稚園の盛になると共に、幼児教育に携わる者が、考えねばならぬ種々の問題がある。幼児の教育編集部では、現場の幼稚園の先生方が、何を問題としておられるかを知るために、全国の公私立幼稚園に、最も重要と思われる問題について回答をお願いした。それらの声を集め、現在幼稚園教育で考慮すべき重要な問題として、ここに掲げる。

一、施設及び設備の充実

幼稚園の建物が不足している、というのは多くの人の声である。或いは、建物が出来ても、幼稚園に必要な設備が整わず、十分に教育目的を達することが出来ない。

「適当なる環境を与えて、という本来の使命を果していくためにも、また幼児をおおらかに朗らかに育成していくためにも、施設や設備を充実していかなばならない。巷間云々されるような安易な考え方による幼稚園経営を排除していきたい」。(愛知学芸大学附属幼稚園長、鈴木信政)

「入園希望児の多いことで教室の不足のため、充分満足する収容が出来ない。(小学校併設幼稚園では)独立幼稚園に比較して設備が不十分である、ために充実した教育が出来ない」。(東京都千代田区立、小川幼稚園長、橋井 仁)

「幼児教育の重大さと必要さを痛切に感じながら、その施設があまりに少ないこと、この事は父兄側の不満でもございます」。(北海道札幌市、藤幼稚園)

これらの施設不足の問題は如何にして解決されるだろうか。

「経済的確立。この点に關しては全く見通しがつかぬ最も重要であることを自覺させられます」。

(京都市、鴨東幼稚園、広沢勝亮)

「施設、設備の充実。私立幼稚園の財政難施設極めて貧困」。

(東北大附属幼稚園長、村田良一)

「近年入園希望者が増加して来たことは、(九〇%以上になつてゐる)就学前教育の重要性が認識されたことと心強く思われるが、教室が少ないために学級園児が多くなる。早急に施設の充実ははからねばならない。国からもしっかり補助をしてほしい」。

(兵庫県、長尾幼稚園長、三谷敬二)

「幼児教育の急速なる普及により、幼稚園も狭き門となりつゝある。その解決は、既設園の施設の拡大と、良心的幼稚園の新設が必要である。とくに今日まで苦心經營に當つてきた既設園の健全なる發展、育成のため、低利資金の貸出機關の設置などの金融面の便宜等を、監督当局や、私立幼稚園相互の協力によつて計画、実施すべきことが切実に望まれる」。

(名古屋市、珉光院幼稚園長、小桜美代子)

「施設設置に対する国庫補助の件。幼稚園教育が義務制にまでしてほしいという声の大なる時、施設新設に対して補助がないというは残念である。保育所は至る所に任意に設立される。国庫補助がある為僅少な追加を県及町村ですればよい。經營にしても保育所は私立の如何なる所でも多額の措置費が支払われている現在、設置に対する補助だけでも出してほしい」。

(高知県、須崎幼稚園、大崎花子)

「毎年の事ながら、親等がこれだけ幼児の保育という事に関心をもつて来ているのに、幼稚園数が足りなく、希望者を全部収容出来ないのが遺憾である。又定員数をオーバーしても無視して入園させるので、教員数が不足しているし、思ふ様な保育が出来ない。テストやくじ引で入園等はもつての外と思う。国や県がもう少し予算面で幼児教育のため考慮してくれたらと思う」。

(三重県、松坂市、市立幼稚園長)

終戦後幼児数も増加して、此の数年は特に幼稚園の不足も痛切に感じられた。そして經營の問題と關連して、幼稚園がその園児数に比して小さすぎるという問題も、我が国の人口問題と同様に痛切である。

「敷地狭隘に關する解決の問題。多大の費用を要する今日生徒に対する敷地の比率は余りに狭小すぎる。之に対する、経済的、政治的援助の道なきや」。

（東京都渋谷区城南教会幼稚園長、星野三雄）

敷地が狭隘であるという問題と共に、それと関連して、一人の先生の受持つ子供の数が多いということも、同様の問題を提出する。

「社会状況と経済及び施設に関係がありますが、今日の園でも、一人の先生が三十五名位受持っているのではないのでしょうか。是では明らかに理想的な保育は不可能であります。私立幼稚園に対し、何かの経済的裏付を与えて、施設の改良は出来なくとも、先生を増員する位は考えねばならない事でしょう」

（神戸市光の国幼稚園、中村敏夫）

「一組の担任園児数が多い為に形式に流れ易く、一人一人を見つめて個性をのばす教育が出来難いと思う。保護者とも如何に手をつなぐべきか、考慮すべき方法があると思う」

（京都市、常葉幼稚園、藤波 和）

此ら諸点で問題になつた経済的問題は、如何にして解決されるであろうか。此処でも幾つかの案が提起されたが、現在可能な範圍の対策はもつとないものだろうか。成いは又、経済的問題が解決される前にも、現在の段階で、もつと改良すべき点は残らないだろうか。

二、幼稚園教育義務制の問題

幼児教育普及のために、経済問題解決のために、幼児教育の機

会均等のために、幼稚園教育義務実施の声もかなりある。

「一日も早く義務制にしてほしいこと。」

（島根県、松江市、雑賀幼稚園）

「幼稚園教育の機会均等。入園を希望する幼児には誰でも入園出来る道を開くこと。現在の施設の状態で少なくとも就学前一年の希望者には入園出来る道を開いてやらなければならない。公立幼稚園は一年保育を優先的に、公立幼稚園にも就学前一年児には公費の補助をして経営が成り立つようにし保育所も自由契約児は就学前一年児を優先にして、学今前の教育に力を入れるべきだと思う」

（広島大学附属幼稚園、八坂寅子）

「幼稚園の施設基準を確立して法的根拠を設けて之に引き上げる。幼稚園教職員の待遇を、地方の財政状況によつて支配されぬ様、法的措置を講ずること。幼稚園教育の義務制実施により、右二項も打開されるものと考えてるので、根本的には義務制実施を要望する」

（兵庫県、大屋村、大屋幼稚園長）

しかし、幼児教育普及のためには、幼児教育の重要性を裏付けような、更に一層の研究と資料とを必要とするであらう。

「幼稚園教育が重要であることを、為政者、一般の人に確認させること。現在誰も概念的に重要であると考えているがこれを実証する資料を作製する必要がある。これは少くとも

五年六年の継続的研究でなくてはならない。これが出来ない中は、如何に重要性を説いても輕視され勝ちである」

(栃木県足利市、足利幼稚園、花岡仙鳳)

三、幼稚園教員の問題

「幼稚園教員養成機関の確立について。現在、全国どの府県でも幼稚園適格教員の不足を訴えていない所はないという状況である。これは政府が現段階に処し、速急に体系的な教員養成の方策を樹立すべきであらう。わが埼玉では此の実情に鑑み止むなく県当局に懇請し、新年度から県立の養成機関を設立し事態に適應するよう準備中である。然しこの問題はどこまでも政府として、施策をはかるべき喫緊の事柄である。」

(埼玉県、浦和幼稚園長 長沼依山)

「幼稚園教諭の養成機関。小学校の教諭と同一養成機関であるが、高知県の如き公立園の一所も無い所では、恩給其他の条件によつて、私立園には小学教諭は勤務しない。教授されることが別であるので、専門の幼稚園教諭養成機関を國に於て設立する事は必要欠くべからざる事である。でない幼稚園教育は退歩して行くではないか」

(高知県、須崎幼稚園、大崎花子)

良い幼稚園教員を養成するために、良い養成機関と設置或いは

拡充することが、要望されている。

「教育の資質向上のためには県単位に養成機関を設けていただきたい。静岡県は四月より開設と聞くので、要望が実現されたものと喜んでいます」

(静岡県、私立梅花幼稚園長、鏡島元隆)

「幼稚園激増の傾向にあり、それに伴う良い教諭が見当らず、小学校教諭によつて行われている施設が少くない。養成機関が少ないことが如此現象を生み出している」

(山形市、千歳幼稚園長、梅津吉之助)

「良い幼稚園教師、幼児教育者を多く養成すること。学校教育法に加えられたる今日、尙幼稚園教諭の地方大学にでき同時にもつと幼児教育の特技が此の期の大切な教育が若い方に氣をつけて頂けるならば、どれだけ幼稚園の教育が進歩されることと思ひます」

(愛媛県今治市、昭安幼稚園長、田坂ユキ)

教員養成機関は、幼稚園に良い、先生を集め幼児教育本来の使命を果すことができるように、特に要望される。

「現今漸く幼稚園教育の認識が深まりつつあることは、その増設により、もの語るといえます。そこでこれにあたる教員の養成こそ、幼児教育目標遂行のため最も重大なる役割と存じます。幼児の環境の第一は何といつても先ず先生で

あります。この意味でよき先生の養成こそ目下の急務と存じます。」

(兵庫県、明石市、播磨幼稚園長、内匠ちる)

「地方の私立幼稚園では、幼稚園教員に人を得られない事は、経営の立場からも又幼児のためにも考慮されなければならないと思います。最寄に養成機関がないため、未経験者をついたのむ様になります。子供に対する一言一句が子供の将来に影響すると思いますと、一年でもよいから養成された人をたのみたいと思っております。」

(埼玉大、所沢幼稚園、吉岡久子)

「社会側からも幼児教育の重大さは叫ばれておりますのにわずかにあります施設の保母さん達の資質が低いこと、それをおぎなう積極的な施設が何もないこと。」

(札幌市、藤幼稚園長)

「総合的、有力な養成機関を造り、徹底した教育訓練をなすこと。今日程保育教育者の智的倫理的内容充実が要望されている時はありません。」(京都市、鴨東幼稚園長、広沢勝彦)

教員の資質向上

現職の幼稚園の先生達が互に意見を交換したり、学んだりする機関も必要であろう。幼稚園において、直接に子供に影響し、最も重要な役割を果たすのは先生である。先生の教養に關しての希望と期待も大きい。

「先生の素質向上。学歴も大切だが教養を培めたい。」

(広島県、尾道市、スミレ幼稚園、三浦かつよ)

「幼稚園の時代は大学時代よりもはるかに大切な時代である、とはお互に認めあい、又事実そうです。ではその大切な時代の責任をおう先生達は大学教授達より、はたしてすぐれているでしょうか。勝れていないまでも、自覚しているでしょうか。努力しているでしょうか。勉強しているでしょうか。」

(鹿児島県、伊集院町、伊集院幼稚園長、麦野七右衛門)

「良き環境を与える為の第一には教師の人柄を考慮すべきではないかと思ひます。」(広島県、因島市立土生第一幼稚園長)

待遇改善

良い教師を得るためには、良い教員養成機関の拡充と共に、他の種の教員と比較しても経済的に著しく恵まれない幼稚園教育の待遇改善が、当然問題となる。

「小学校以上の教諭の資質は、最近非常に向上しているが幼稚園教諭のそれは遅々としている。解決方法としては、幼稚園教員養成機関の拡充と相まつて、人材をこの方面に吸収する基礎条件として、待遇改善(とくに私立において)について、各國(とくに私立)が一樣に考慮しなくてはならないと思う」

(名古屋市、環光院幼稚園長、小松美代子)

「幼稚園教諭の待遇改善。私立幼稚園が多い關係上、公立

に比し私立幼稚園教諭の待遇悪く……」

(東北大学附属幼稚園長、村田良一)

「職員の俸給を県から支出するように。町村支弁のために悪い条件にある。義務教育に準じて県支弁とすることが、幼稚園教育振興上大切なことであると思う。」

(兵庫県長尾幼稚園長、三谷敬二)

四、幼児教育の使命に対する反省

「幼児教育の使命にむかつて迈进しなければならぬ。幼児教育の歴史をふりかえてみると、この教育が始められてからの社会の認識は現在非常に高まってきている。それは全国各地に年々幼稚園の数が激増し、入園希望者が続々とつめかけるといふ状況をみてわかる。併し反面、幼稚園教育の功罪等を種々批判されることは、その裏面に幼稚園教育をどのようにゆがめてみられる部分のあることを思わせられる。」

どうしたら幼児の発達段階にびつたりあつた、のぞましいのしい生活経験をあたえ、心身ともにゆたかな人間性を培っていくことが出来るかを、当事者は真剣に研究しあい、全国につぎつぎと発足するすべての幼稚園が幼児教育の使命にむかつて尽瘁することこそ大切であると思う。」

(静岡市立、安東幼稚園長、田中あい)

「幼児教育の真使命。」「三つ子の魂百までも」現今の御子

様は年々に聰明としくなっていると思われれます。自主性にしても観察力にしても非常にちゃっかりして居ります。映画などに興味をもつて、題目の変るたびに鑑賞する幼児が実に詳しく映画俳優の表現する動作などは、そのままのかっこうをして、心に映画そのものを絵がいて日常生活を映画の中に生かそうとするものであります。園長、園主、職員一同の動作又は指導精神は、幼児の心を左右するものであります。幼児教育の神聖さはいくつもの、なかなかしつくりと幼児の清らかな要望に満足なし得ないということを日夜反省して、幼児教育の真使命に一步一步近づきたいと念ずるものであります。」

(浜松市、青葉幼稚園長、松下わか)

幼稚園の目的、幼稚園の使命に対する再反省が現代幼稚園の当面する重要問題として挙げて、再び幼稚園の先生に対する期待は大きい。

「幼稚園教諭が職業意識の対象として幼児を取扱うならばどんな立派な設備も、立派にみえる環境も、どんなに至れり尽くせりのカリキュラムも、子供の霊の成長に何らプラスにならないと思います。幼稚園生活の子供の最良の友とならせて頂く、というけんそんな使命観の下に仿らくとき、知らずして子供の霊の中に大いなるものがつちかわれる、即ち先生方に対して幼児の靈魂のつちかいを要求したのであります。」

(鹿児島県、伊集院幼稚園長、栗野七古衛門)

「教育の方法といえは、現在の学校の形式だと思つて居る様である。幼児に最も適した方法がもつと別にある筈である。依然として知識尊重のみの形式が行われている様である。その原因は、その親達が、これも依然として、見栄的な教育しか考えていない。それにしかも、幼稚園の教師自体が迎合している形である。幼児のためにする教育、これを忘れてはならない。此の様な結果になることは、教師に学問的な深い知識がないためである。二年や三年で幼児の理解の上に立つた真の教育など出来得べきもない。先生になつたなど輕々思つてはならない。生涯をかけて幼児研究の学徒でなければならぬ。」

(甲府市、穴切幼稚園長、古屋喜男)

五、幼稚園の教育内容

實際に行なう教育の内容については、今までも多くの研究と工夫とが積まれて来たが、尙考慮すべき点は多い。

教育計画

「小学校教育との関連づけにより、相当批判され再構成されて、カリキュラムの問題も今日では幾分落付きを見せたが尙、小学校化したものを実施している向もないではない。あくまで遊びを中心とし、これに保育内容を凡てとけこませ、教える、という臭みをとつたものこそ望ましい。時間的に余

り制約されず、幼児のレディネスに即応していきたい。」

(愛知学芸大学附属幼稚園長、鈴木信政)

「無計画な教育、思いつきの教育、偏した教育が多い。1 先生が若く未経験で、教育識見に乏しいから。2、標準となるような十分なプランがないこと。3、相手が幼いので、活動的なしかも短い時間の単元が多いので、(教育計画が)なかなか困難なこと。」

「ふるい幼稚園の保育内容をそのままの形で、家庭生活や個性尊重の考えちがいなどから教育内容の更新研究が必要と思われる。保育から教育への移行といつてよいようなものである。」

(東京都、港区西校幼稚園、樋口澄雄)

「バーソナリティー形成に重点を置き、幼小一貫教育の叫ばれている時、小学校の準備教育にのみならない様に考慮すべきであると思います。」(広島県、因島市立土生第二幼稚園長)

生活指導の問題

「世の中の乱れは、家庭や近隣に生活する子供の生活に直接響いて来る。生活のし方とか、人柄からにじみ出る正しさ美しさは、幼稚園教育の生活指導にまつところが大きい。此の点を特に重視し度い。」(広島大学附属幼稚園、八坂富子)

「音楽、遊戯、図画、手技其他、個々の部分は割合よく研究されていますが、生活指導にこそもっと力を入れるべきで

しよう。人間の基礎教育とも云うべき幼稚園で案外軽くみられていたと思います。あらゆる研究及指導は必要ですが、特に私は次の二つを主張致します。○ 良き人格をつくる事。例えば感謝し、正直に、又親切にそして一生懸命に事にあたれる様な人格の基礎をつくっておく。○ 良き習慣をつくる事。健康、言葉其他日常生活についての基礎的なものの習慣をつくって行く。」

(神戸市、霞ヶ丘幼稚園長、土井芳子)

「平和的性格形成への努力。幼稚園で所謂「平和教育」を行えとは言わないが、万世に大平を開かんとの大使命を以て再起した日本の将来を荷負うこの幼児の性格形成の時期を委ねられている私達は真剣に「平和的性格形成」のために研究し、努力せねばなるまい。」(京都市、洛西幼稚園、田村貞一)

幼稚園で伝統的に重んじられている事柄、創造性、自主性は、いつの世にもとり上げられてくる問題であり、幼稚園教育の常に工夫せねばならぬ事柄である。

「幼稚園生活の中に創造性を養う為の生活経験を豊かにすべきこと。新しい保育形態に入りにくい環境にある多くの幼稚園が、余りにも創造性に乏しい生活に安んじている様に見える。」

(愛媛県今治市、昭安幼稚園長、田坂ユキ)

「自主的な生活態度を培うこと。自分で自分の遊びを見出し、工夫し、創造して遊べるよう、あらゆる考慮をしたい。」

(大阪市立、貫江田幼稚園長、福島慎子)

「保育内容についての研究。文部省で示されている十二項目の保育内容がありますが、まだまだ研究の余地があります。」

保育形態の研究。一斉保育・自由遊び・グループ活動の三つを幼児の発達程度に応じて、どの割合におりませて毎日の保育をして行くかという問題。・実際の保育に当って、如何にして幼児を自から遊ばせ、いろいろな事を経験させるべく環境を作って行くかという問題。」

(姫路市、綱干幼稚園々長、三木藤枝)

健康と安全

「健康で安全な生活を望む。清潔の徹底、先ず手洗を習慣化させる。安全、いつも誰かが後からついて危いよと注意するのでなく、自ら幼い乍ら危険から身を守ろうとするように生活させて行き度い。」(大阪市立貫江田幼稚園長、福島慎子)

「健康上の留意が乏しくないか。身体上の発育は勿論の事營養上も配慮がない。設備上にもどこにも十分の配慮がない。」

個々の具体的な教育の内因について意見を求めるならば、百様の問題が取り上げられるまでであろうが、此の調査においてはこれ以上に立ち入った細かい点は、指摘して議論されていない。ただ

一例、科学教育に触れているものを次に掲げる。

「科学的陶冶に殆どかけている。フレーベル館からの意見を求められたからと云うわけではないが、同館から出版されているキンダーブックは慥かに科学的保育に徹している点が多い。私は大にこれを有効に利用し且啓発されている。昨年九州地区におけるワークショップ幼児班の討議問題の自然観察の一項目があつて、この方面の注意を慥かに惹起したと思うが、扱幼稚園内に入つて其の方面の設備何程ありましようか。日本人に偉大なる科学者を出すことの少ないのは、幼児教育者も其の責の一半を負うべきではないか。敢て先覚者各位の御批評と同業者の反省を乞う。七五翁。

(長崎県島原市幼稚園、渡部義正)

教科内困とは少し違うが、関連ある問題として、設備の工夫及び、親の教育家庭との連絡についての意見に、こゝでふれよう。建物の設計についての問題。

「保育室の広さについて、設備については、考慮が払われているが、色彩については殆ど無感覚に近い。照度と精神的安定を中心にした天井壁柱等の色彩について、もっと考えてほしい。狭い建物の場合尙更です」。

(東京都渋谷区城南教会、星野三雄)

親の教育、家庭との連絡

「母親教育は如何にしたらよいか。先ず入園と共に幼稚園の指導主旨及び秩序を守ってもらい、又教師を信頼して毎日通園させる事を話し合い、一ヶ月に一度は必ず幼稚園をのぞき先生や幼児達の生活をよく知つていただくなどし、くりとなくして入園させる。私は本年度より組別の母の会を開き出席を調べて園長と受持の教師と保護者と話し合い、其の月々の賦と保育の内容について幼稚園と家庭と協力して保育していきたいと思ひます」

(浜松市、青葉幼稚園長、松下わか)

幼稚園の教育内容については、従来から種々の書物があるが、現在特に急激に幼稚園が増加しつゝある事情に鑑みて、權威者の智を集め、且幼児教育に携わるものの要求を充すべく、幼稚園教育指導要領が文部省から公刊されることが望まれる。

「幼稚園教育指導要領の公刊について。幼稚園の教育内容については、教育法第七十八条の目標達成の五項目を中心とし、夫々カリキュラムを編成し操作されていると思うが、かつての次官通牒による教育課程について、昭和二十二年文部省発行の保育要領試案を代用する旨が記され、而も今日まで幼稚園教育要領が刊行されないのは如何なる理由によるものであろうか。就学前の幼児教育(実際上の)指針を明示し名実共に權威あるものを速かに公刊されることを希望する」

(埼玉県、浦和幼稚園長、長沼依山)

六、幼稚園と小学校との連関

幼稚園も小学校も同じ子供の教育を目指すものであるから、その間に密接な連絡が望まれる。まして、幼稚園の上級と小学校低学年とは、心理学的に極めて似通つたものであれば、両者ともお互にもつとよく理解し合つて始めて、此の期の教育の完璧が期せられるであらう。

「人格形成を目指して懸命の努力をしている幼稚園教育も一方的となり又ひとりよがりでは、その教育目的を遂行するのにいびつになり、子供達の幸福も完璧を期することが不可能であります。幼稚園と家庭とが密接に連がりその育成に協力している如く、幼稚園と小学校とが互に連関をもつことにより、幼稚園教育の意義が一層深まるのであると信じます」

（兵庫県明石市、播幼稚園長、内匠ちゑ）

概して云えば、幼稚園の先生が小学校に関心を持ち、理解しようとする努力の方が、小学校の先生の幼稚園に対する関心よりも強いのではないだろうか。小学校の先方に幼稚園に対する認識を深めて頂きたい、ということは多くの幼稚園の先生の考える所であらう。

「幼稚園にいかなかった子供の方が、一年生に進学してから非常にのびるようだ等と特殊の例をあげて幼稚園教育をうけた子供をゆがめてみられるようなことを再々きく。私はそ

のたびに、もしその子が正しい幼児教育をうけていたら、どんなによい成長をしただろうと思ひ、先生方にも申し上げている。幼稚園で幼児がどんな生活をしているかということも少くとも低学生の先生方には、もっと認識していただきたい。自分が小学校の教師をしてきただけに一層それを痛感し切望するものです。具体的方法としては、新年度一年を受持とうとする先生方に、せめて終末学期の幼児の生活位理解してもらふ方法をとることであると思う」

（静岡市立安東幼稚園長、口中あい）

幼稚園と小学校の先生との談合の機会を増すこと、或いは指導要録のようなものでも小学校に利用してもらへような制度を確立すること、等々の問題が考えられるが、此処では特に、小学校一、二年と幼稚園との教員の交流がとり上げられている。

「幼稚園児と小学校一、二年児とは、発達のみにて一つのまとまりとみた場合、教員の交流がのぞましい。現状では教員の質や、制度上の問題で実現に難点がある」

（島根県松江市、雅賀幼稚園長）

「併設幼稚園のある学校は、持上り式に小学校低学年を担当することが望ましい。これは児童の教育のため是非必要だが、給与関係、資格其他で仲々実現されない。若し実現すれば、幼稚園と小学校の関聯が大きくなり、一層実績が上るものと思われる」

（東京都千代田区立小川幼稚園長、橋井 仁）

こゝに、特利に問題となる子供、特に智能の遅れた子供のための学級設置の問題を、附加しておく、全国の小学校に特殊教育が普及しつゝある今日、幼稚園としても考慮を払うべき事柄である。

「特別学級設置の件。智能の発達のおくれた幼児だけの園とまでは行かなくとも、せめて一クラスでもつくれたらとねがう。」
(三重県、松阪市立幼稚園長)

七、時代の風潮と幼児教育の問題

幼稚園が増加し、幼児教育が普及することは望ましく喜ぶべきことであるけれども、もしも幼稚園が企業本位になつて、その底にある教育を見失うとするなら、これは幼児のために大きな問題である。現在既にそういう憂をもっている意見もある。

「幼稚園が街の小企業家の手によつて安直に設置され、父兄に迎合することに専念、小学校との連絡を考えない経営が行われている。このことは国家の幼児教育の立場からも、ゆるがせにできない。」
(東京都港区西桜幼稚園長、樋口澄雄)

「入園希望者の多き事を理由として新設される園が増加される事は喜ぶべき事ではありますが、その際、政治的手腕者、或は富ある者の慈善的行為(内容はさにあらず)等でなされる事があるのではないでしようか。幼児の魂を熱愛する人々

によつて作られるべきで、單なる事業であつてはならないでしやう。」
(神戸市、光の園幼稚園、中村敏夫)

「定員の減少の断行。ここ両三年、幼児数の激増と幼児教育への関心増大のため、各園押すな押すな盛況で、無理を承知で多数の幼児を收容し、それに伴つて「幼稚園の企業化」的傾向が見られ、その間に園の新設も相当あつたが、本年あたりを峠に幼児数も減少し始めてゐるから、この機会に幼稚園が自発的に園の定員、各組の定員の減少を断行し、一園百名一組数十名と云つた非教育的な経営を改善したいと思う」
(京都市洛西幼稚園、田村貞一)

幼稚園の設置規準を引上げることが、これらの事情に鑑みて、必要なことであらう。

「幼稚園の施設基準を確立して、法的根拠を設けて之に引き上げる。」
(兵庫県大屋村、大屋幼稚園長)

幼稚園の入園希望者が多いため、これを智能テストでふりわけることの弊害、小学校の入試智能テストに伴う弊害も、幼稚園の当面する問題として取り上げられる。

「現在の幼稚園教育に於て考慮すべき最も重要な問題は、都会に於ては入園希望者と園児收容数が合致しない為、幼児教育に最も大切な人を作る情操教育が十分徹底出来ない。私立に於て、入園さすべき必要ある幼児を断つて、テストに依

つてのみ収容することは考えるべきことと思う」

(京都市常葉幼稚園、藤波 和)

「狭き門。何とか出来ないであろうか。家庭から社会への
第一歩のテストは、双葉には厳し過ぎはしないか」

(広島県尾道市、スミレ幼稚園、三浦かづよ)

小学校の入試が幼稚園教育に響いてくる。

「近頃、一般が幼稚園に上げなければならないという気持ち
になって幼稚園は盛になって来た様ですが、さて内容はどこ
までまちまちなのか。時々耳に致しますが、一年生の範囲に
まで入って字や数字を教えたり、折紙の宿題が出たりすると
ころがあり、その方が程度が高いといつて転園させたりする
家庭もあります。如何なものでしょうか考えさせられま
す」。

(埼玉県所沢市、所沢幼稚園、吉岡久子)

附 記

此の調査は、最初、全国的に、現在の幼稚園の先生が何を重要な
問題と考えておられるかを知るために企画された。「現在、幼稚園
教育で考慮すべき最も重要な問題は何かと考えられますか」という
質問に対し、最も重要と思われるものを二つだけ回答して下さる様
にお願いした。全国三千余の幼稚園に、すべて回答をお願いするこ
とは不可能なので、その中から五百だけ抽出した。抽出に当つては

偏りのないように、公私立別、県別、を考慮して、統計的に作無為
に抽出した。しかし、事務上、時間上、その他種、の手落ちのため
に得られた回答は僅かに四十枚余りであり、最初は統計的処理をも
志したに拘らず、統計的数字を掲げることは不可能となつた。従つ
て、此処に掲げた意見が、果してどの程度全般的な意見を代表する
ものかを知る術がないが、回答して下さつた先生方は、誠に熱心に
意見を述べて下さり、又、取り上げられた問題も、幼児教育全般に
亘つていたので、此の様な形で編集した。此処に、執筆頂いた先生
方に感謝致します。尚又、今後も同様の計画の際には、読者皆様の
御協力をお願い致します。此処に取り上げられた問題、「幼児教育
の当面する重要な問題」について、御意見をお持ちの方は、幼児の
教育編集部までお寄せ下さい。

尚、編集締切時期に遅れて回答して下さいました方は此処ではふ
れることが出来ませんでした。今後何かの形で御報告致します
故、御諒承下さい。

電話番号変更についてのお知らせ

この度弊社電話番号を左記の如く変更致しましたのでお知らせ
いたします。

切替日時 昭和二十九年四月二十一日午前〇時

電話番号 (八二二二・八二二三・八二二四)

東京二九局 (29) (八二二五・六三八八(企画・編集用))

株式会社フレール館

RELIGIOUS EDUCATION IN THE KINDERGARTEN

M.F. Scruton

Many Christian kindergartens throughout Japan are carrying on programs of religious education with ^{the} four and five year old children committed to their care. Just what can religion contribute to the life of a little child? The answer of one psychologist is: "Religious belief provides the child with a sense of security, a guide for social living, and a motive for doing right." Let us take up each of these points in turn and see what relation it has to education in the kindergarten.

A Sense of Security

To-day most educators agree that children have basic emotional needs and that it is just as important to meet these as to meet the child's physical needs. Although there are many differences of opinion as to just exactly what these needs are

エム・エフ・スクルトン

幼児の宗教教育

日本国を通じて、多くの基督教幼稚園は、其世話を委托されてる四、五才児に、宗教々育案を運営して居ます。宗教は幼児の生活に果して、何を寄与し得るでしょうか？ 或る心理学者は、「宗教信念は、幼児に安定感、社会生活の指導、及正しい事を行う動機を与えるものである」と答えて居ます。是等の諸点のそれ々を逐次取り挙げて、幼稚園に於ける教育に如何なる關係を持って居るか見ましよう。

安定感

幼児は、基本的情緒要求を有し、それは、幼児の身体的要求を充すと同時に重要であると言う事は、今日多くの教育者の一致する処であります。是等諸要求が真に何であるかと言う事については、多くの意見の相違はありますが、先ずいつも第一に表に挙げられますのは安定感（入用の者である、所屬してる愛せられてる）であります。確実な宗教信仰以上に大なる安定感をもたらすものは外にありません。幼児の安定感要求が、両親や、彼を世話する大人によって充たされて居ましても、やがて幼児は其の大人達とは又神と呼ぶより高い力に頼って居るのだと直ぐに悟るようになります。

神は賢い、善い、愛の父のように私達をお守り下さいます。褒り給う事がありません。幼児もだん／＼又此の力に頼り得る様になります。

幼稚園児は、如何にして神を知り得る様に成りませうか？ 申す迄も無く定義だの、説明によってではなく、神を信じて神を拝す人々と生活する事に依つてなります。

基督教幼稚園では、毎日礼拝が行われます。それは僅五分位しかかかりませんが、全園児は、静かに、敬虔な態度で集い、音楽、讃美、短い祈祷を通して、彼等の思いは、神へと向けられます。多くの幼稚園で、此の短い礼拝の間は、幼児に消えない印象を与えます。

京子さんが、小学校一学年に入學後、度々帰宅の途中先生に逢いに、幼稚園へ立寄りしました。「学校はどう？ 面白いでしょう！」

と先生が尋ねますと、「面白いから大好きよ」

「皆がさわいで叱られるといやだわ！」

「私ね、もし幼稚園の時みたいにな、静かに礼拝が出来たら先生から、叱られないと思う」わと其子は答えました。

此の六才の幼児には、一日の始めに思いを神に向け、心を神と調和させますと、其日の出来事を変えて行くものだと言ふ事が分かりました。

幼稚園での自然研究は、幼児に神を知らせる助けとなり

ます。幼児は、水仙が濃い褐色の球根から生えて来たり、灰色の蕨から美しい蝶々が發生するのを、じつと見つめる時に、畏敬と神秘的な思いを抱きます。お月見や七夕に関連した、数世紀来の面白い風習は人が星月夜に、又は月の光る夜天空を凝視する時感じる、驚きと、神秘の意識の表現であります。此の畏敬と驚きの意識は、不思議な宇宙を創造し、夜は私共の道を導く光を与え給うた、偉大なる神を礼拝する基礎であります。賢明な教師の指導の下では、かゝる経験は、幼児の精神生活に大きな意義が有ります。私は五才児が自分の窓から三日月をじつと凝視した時、幼稚園で先生が使われる或る本からの言葉「三日月さん、きれいだわ！ 神様有難う！」と小さな声で独言を言ったという例を知つて居ます。

幼稚園の全体の雰囲気と、教師達の態度、及び日常の極く小さな出来事に対しての、取扱ひ方を通して幼児は、だん／＼に神の存在を認めるようになります。斯様な確信が人の生涯に、もたらす安定感は一量り知れない、価値があります。

社会生活への指導

若しも宗教が只思想や感情の世界に現れるのみでは、不充足です。社会性発達、精神発達に於て重要な要素と看

倣されて居ます。

社会性発達是如何にして起きますか？ 社会研究教師は答えて、「(一)社会性発達は他人に依頼する事より自立に至る。(二)自己中心より他人に関心を持つに至る」と、昔イエスは、第二の点を他の言葉で、お現しになりました。「己の如く汝の隣を愛すべし」と幼稚園では、この様な遂に高い社会的標準を適用するには、ほんの其の土台がつくられる文です。社会性発達は、誕生に始まり、一生涯を通して続いて行われるものです。

児童発達研究は、宗教々育に、社会的関係のあり方に於て幼児に何を期待すべきかを知る助けとなりました。幼児は各年齢層に於て最大限の進歩をするよう助長されなければなりません。「訓練は円熟に優さらないが、尊重さるべきである」ゲゼール

五才では幼児は未だ猶自己中心で有りますが、急速に他人を認知する発達をして居ます。教師は、幼児を、自分の行動が他人に及ぼす結果の見地から考えるようにさせ、そして他人の福祉を考慮に入れて選択をする氣質を養うようにすべきです。

良い幼稚園にも増して、幼児が正常な、社会性発達を遂げるより良い機会の与えられる場所はありません。幼稚園に於て毎日の経験を通して、幼児はグループに役に立つた

り、協力したり、分担したり、順番を待ったり、他人の權利を尊重したり、淋しい人、病氣や困ったりして人々に同情を現したり、自分達の福祉の為に尽して下さる他人の貢献へ感謝を現したりする経験を得ます。

自由遊びで幼児達が喧嘩ばいなら、教師が注意しないとなか／＼順番通りにしませんなら、若し各々がいつも自分の權利を主張しますなら、そして斯様な状態が続きますなら、宗教々育案に欠陥があるのです。精神発達は、幼児の全面的発達から、かけ離れるべきものではありません。

長い間他の幼児がブランコを独占して居たのを待つて居ました或る小さな子供が、側に立つて居ました大人に向つて、

「雪子さんは「己れの如く汝の隣を愛すべし」ってお言葉覚えてないでしょう、若しおぼえていらしたら私と代つて下さるね」と申しました。

社会倫理を教えるのに大変むずかしい言葉を其先生は選ばれたようです。而し少くとも一人の幼児は、他の人に其の教えの適用のし方を知つて居ました！

社会性発達の今一つの面を消防夫の単元の結果によって実例を挙げましょう。幼児達は近所の消防署を訪問しまして学びました事により大変感銘を受けました。其翌日数人の子供が消防夫さんにお花を差上げ度いと言ってお金を持

つて来ました。先生と相談の上で、消防署へ花束を、そして焼け出されのある家族へお金を僅か上げる事に決めました。斯様な自発的の、有難いと思ひ又同情心の発露は只だに、社会性の発達のみでなく同様に、精神発達の徴候しるしであります。

正しい行為の動機

或著者達は、正しい行為の動機づけの四段階を提言して居ます。

行為——(一)赤ちゃんの作用する生物学的のもの(二)褒賞と罰(三)社会承認と否認、(四)社会的善の爲の自己抑制。私達教育者としての目的は、幼児達がいつか動機づけの第四段階に達せん事であります。而も多分、私達各自は私共が低い卑劣な事をしました時に「どうだってかまわない、誰れにも絶対に知れつこ無いから」と心密かに思つた事があるでしょう。家庭から離れて、古い道德、習慣に束縛されない、新しい環境で、青年達によって道德標準が低下される事が例証されて居ます様に、多くの人々は第二、又第三の段階以上に達しません。宗教信念が、正しい事を行う動機を与えるものであるなら、人の道德律は、自国でも、グリーンランドでも或はサハラ砂漠でも同じであるべきでしょう。宗教信念は只に最高の動機を与えるのみでなく、正しい行

爲に對し最も強い動機を与えます。

大抵の幼稚園児は、善い事をすれば酬いられる事を習いました。彼等は又社会承認特に好きな大人からの承認を得ようとしています。だん／＼に彼等は同輩からの承認を更に重んじる様になります。彼等を、自己抑制の終極目標に導き正しい事を行う動機をつけさせようとはすには、私達自身の考えが非常に明確でなければなりません。且つ自身自身の生活が、神の御導きに従うと努めてる事実を實際に現して居なければなりません。幼児は宗教信念によって出来る自己抑制目標に達せられないでしょうが、両親や先生がより高い力に導かれてゐるのを認められかけます。

前に述べました様に、私達の第一目的は、幼児達に神は我等の愛の天の父でいまし、私共の眞の安定は神の中にある事を教えるにあります。而しそこで止まるべきではありません。彼等は又神は、善を愛し、惡を憎み給う。正義の神である事を学ぶべきです。神は私共が善良ならんことを期待なさいます。若私共が神にお願いしますなら善良にならせて下さいます。神の法則オホソバに従います時満足と幸福感が得られます。神の法則を破ります時幸福でなくなり、神との調和が失われます。惡を行いますことは個人的事ではなく、又たゞ他人を傷つけてる丈でもありません。惡の行いは、神様自身の道德及精神法則を破つて居るのです。

神は如何なる御方であり、私達に何を為す事を望み給うかを知る最も善い方法は、イエスに就て学ぶ事です。小さな幼児でさえも、方々を巡^{めぐ}つて人々を助け、生活の仕方を教え給うたイエスの種々のお話は理解出来ます。子供等はイエスを自分達の知^しっているそして愛する人として考える様になりました。だん^だん^だに彼等はイエスは、他の人々よりもお異いになった。無比独得のお方で有る事が分かるようになりました。多くの基督教々義は幼児には理解し難く、もっと後から教えるよう保留すべきですが而し幼稚園の子供でも、正しい行動に対する私達の動機は、神の子供として生活する事であると言うことを学び始めます。人が互に愛し助け合うと言う事は、神の御計画の一部であり又神は人が是を実行するであらうと思つておいでになります。

幼児は聖書を読んだり理解したり出来ませんが、両親や先生達が愛説する本があり其の教へは自分達の行為の標準として受け入れられるものだと言う事が理解出来ます。いつかは、それが読める様になり又彼等の指導となります。

「社会的善の爲の自己抑制」の高い段階の行為の例の爲には少し年長グループを取らなければなりません。私共の保育短大では、図書室は、接架式になつて居ます。学生は

信用組織で書物を借り出します。各自ブックカードと個人カードとに返却予定日を所定通り記入してそれを置き、図書係に照合せをして貰わないで欲しい書物を持出します。近頃は殆んど紛失する本はありません。斯の様な責任感是自己抑制から起きて来ます。斯の様な行為の動機は此の学生団員達の宗教的信仰に根ざすものだとは私は信じて居ます。宗教々育は、此の標準に生活して居る、そして幼児指導をしようとする時、幼児を到達させようとして居る究極目標を常に持つ所の教師に依つて行われるべきです。

今日幼児に与え得る最善の教育は、宗教信仰による背景なくしては、幼児が試練と緊張に直面するのを助けて行くのに不十分にならうとして居ます。今日の私共の諸問題は根本的には物質ではなく、精神問題であります。たゞ精神的含蓄豊かな人々にして始めて現今の諸問題を解決し始め得るのです。

幼児達に必要な精神的含蓄を豊にさせるよう努力しましょう。

(東洋英和女子大附属幼稚園長)

▽おしらせ△ 教育實際指導研究予告

今年も左記要項によって教育實際指導研究会を開催いたしますから皆様多数御列席下さいませようお待ちいたします。

なお詳しいことは次号でお知らせ致します。

期 日 昭和二十九年六月二、三、四日の三日間

主 題 「幼児の生活経験と環境」の主題の下に、実地指導

研究発表、研究協議会、講演など。

申 込

「はがき」にて、お茶の水女子大学附属幼稚園内、

教育實際指導研究会係り宛、お申込み下さい。

昭和二十九年五月

主 催

お茶の水女子大学文教育学部

附属小学校児童教育研究会

附属幼稚園幼児教育研究会

昭和二十八年年度実験幼稚園研究発表会

一、日 時 昭和二十九年五月二十日

二、場 所 東京学芸大学附属幼稚園

三、事 項 (幼稚園における五才児の望ましい経験のうち)

A・身体的活動とその指導 B・言語の発達とその指導

四、研究発表事項

A・身体的活動とその指導

1、家庭における幼児の健康生活の実態 2、幼稚園における健康指導の現状 3、乳幼児の運動能力の発達 4、本園幼児の運動能力 5、幼稚園における体育的活動の内容 6、体育的活動の指導

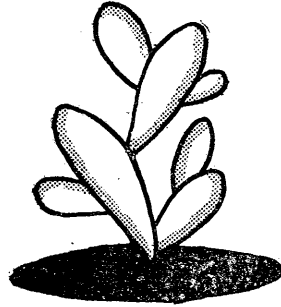
B・言語の発達とその指導

1、お話に対する幼児の理解度の調査 2、言語表現の発達に関する調査 3 読字レジネスの問題 4、その他

文 部 省

仮性精神薄弱児

問題児



出席者

(発言順)

津 守 眞
富 樫 純 子
平 井 信 義
松 村 康 平
村 田 修 子
堀 合 文 子

外お茶の水大幼稚園職員一同

問題

津 守 今日富樫先生の受け持たれたお子さんで問題になるお子さんがありますので、いろいろお話し合いをしてみたいと思います。丁度ここに御出席の平井先生もしばらくそのお子さんを見てこられたことがあるそうですね、平井先生の方から色々お話しがあると思います。では先ず富樫先生からそのお子さんが、どういふ問題になるお子さんだったか概略をお話ししていただきますよう。

富樫 最初から全然自分の事が自分で出来ないのです。二年

精神薄弱児(ちえの遅れた子供)のように見えて、必らずしも、ちえが遅れているのではなく、家庭の取扱いが極端に悪かつたり、正常の環境が与えられなかつたりして、そのために、精神薄弱児と間違えられる程、いろいろの点でおかれていることがある。これと、仮性精神薄弱児という。そういう場合には、環境を調整し、豊かにしてやると、向上する場合が多い。此処に取り上げた事例は、仮性精神薄弱児ではないか、と疑われる例である。

保育でしたが、入園の頃、お手洗いにも行けず、靴も一人ではくことが出来なかつたのです。それに滑り台などの遊具にも恐怖心をもつていて——クレオンなども小さい時から全然使つた事がなかつたらしいです。運動の方面が特に遅れておりました。

津 守 では幼稚園に入つて来たとき、すで

に他の子供たちとちがうとすぐ解つたんですね。

富樫 ええ、歩き方が変だつたのです。何かをまたぐと云う様なことも、どうもうまくまたげないので。

津守 すると一番問題になつたということ、その子は自分のことを自分で出来なかつた、つまり依頼心が強かつたんですね——では、どうしてこゝういう工合になつたかをもつとよく知るために、その子供自身の發育の状況、家庭環境の概略をお話して頂きましよう。

富樫 生れたときは逆児だつたとのことですがはじめは二十四ヶ月で、お家ではお父さまが音楽家で、それに祖母さんと云うのが、極端にその子を可愛がつていました。

平井 それはお父さんが音楽家で忙しいしお母さんが、それを何かと世話していられるので忙しい——そんなところから、その子は主に祖母さんに育てられて来たと云うのです。

松村 兄弟は——。

富樫 妹さんが一人いらつしやいます。でも幼稚園に入つてきたときは、生れていませ

んでした。

津守 お母さんの教育程度は。

富樫 高等女学校卒業です。

平井 僕が本人の印象を少し話しましやう。始め富樫先生から相談を受けたときは、少し知恵が遅れてはいないかと聞かれたのでした。大体、人に対する態度は何となく、ぼろつとして、間のぬけた感じでして——着物の脱ぎ着が全然といつていい位出来ないのですね。する気はあるのですが、テクニクがわからないという風です。その時、この子が動物園に行つた事を顔つきの割によく話せたので、これは育て方に問題があると思ひましたね。その子は歩き方が変で、しきいもまたげず、橋も渡れない、スキップは全然出来ないのですよ。

津守 その子の顔つきは？

平井 ばかんと口をあけていて、目はやぶにらみなんです。

富樫 ばーつと口を開けて、だまつていると一時間位も人の顔を見ているのです——。

平井 でもとても楽しそうなんですよ。

津守 では最初から変だつたのですか。

富樫 ええ、最初から変なので、気をつけ

ていたのですが。

津守 身体初所見は？

平井 一般的な身体所見はないけれど。運動機能は遅れているし、洋服の釦なども、精神薄弱児と同じようにはめられないのです。しかし、身体的な欠陥はない様に思われますね。

津守 知能は？

富樫 一〇〇（田中ビネー）でした。言語を使う部分は比較的良く出来るのですが、正方形を書いたりする事は出来ません。まあ書くといつたら線を引く程度なのです。

松村 逆児というのは問題になりますか？

平井 この場合は関係ないと思ひますね。ただし逆児の場合はお産の時間が長くかかりこゝういふ場合アメリカなどでは酸素欠乏症といふのが考えられますね。この場合は、この様な事を考えなくてもいいと思ひますね。

津守 妊娠中は？

平井 この場合は、知能が先にわかつてしまつたのであまり問題にならないと思われるのですが——。

富樫 親が子供らしい育て方をしなかつたといふのが大きな問題だつたと思ひます。

平井 僕はお祖母さんにお逢いした事があるが、親よりお祖母さんがいけないと思ひますね。この家ではお祖母さんが権力を持つてゐるのです。母親は頭の良さそうな人ですがお母さんはお父さんの演奏旅行などについて歩くのでお祖母さんの育児方針とたとえ違つていても子供をお祖母さんまかせにしなければならなかつた。それでも別に家庭にいざこざがあつたというわけではなく、或る種の家庭の統一はあつた、と思います。

松村 無智な統一だつたのですね。

津守 無智並びに必然から來た統一だと思ひられますね。

平井 しかし子供は非常に人のよさそうなもまれていない感じの子供でした。

津守 はじめ入園した時の様子を話していただきますよ。

富樫 入園した当時、お家の方から離れませんでした。

松村 あまり家から出た事がなかつたのですか？

富樫 なかつたとおつしやつてました。

津守 家の人と離れたのはいつ頃ですか。
富樫 家の人からは三週間位で離れました

が、その後一年位先生から離れませんでした。朝來ますと友達をする事をじつと見ていて、外遊びなどはしなかつた様です。砂場遊びも汚いと云つてしませんでした。

平井 お箸が使えないから、お弁当を随分こぼしたりしていましたね。

平井 お母さんに聞いて見ますと弱かつたので始終おんぶをしていた様です。又物を食べさせるのも、お手洗に行くのも皆お祖母さんがやつてしまうという事をお母さんから聞きました。

富樫 お祖母さんがだいぶ天理教にこつていて、お母さんのお乳が出なかつたのは信仰が足りないからだと云つて、乳児に砂糖をなめさせたりしたそうなのです。

平井 それですだれみたいになすつかり虫歯になつてゐるのですよ。

村田 入園試験の時、三段ぐらいの階段にさしかかつた時そこをのぼれないではつて登つていたのでおぼえています。

津守 幼稚園でほかの子供と話をすることはありませんか。

富樫 一緒の方面に帰る人とよく話をすることがあります。

平井 話しかけたりしても、その時は非常に嬉しそうに話をします。

富樫 又だまつていれば、いつまでもだまつてゐるんです。

津守 遊戲などは？

富樫 歌とか遊びはとても好きなのです。

リズム感はあるのでしようが、自由がきかないので、一拍子か二拍子遅れます。それからスキップが出来ないので、スキップの類は非常にうれしがつてやります。

平井 スキップの番がくると喜んでたばたばたとかけ廻つて帰つてきますね。

津守 では運動の場合はそのテクニクがだめであつて、しかしさそれれば非常にそれをよくやろうとするのですね。

津守 ではこの辺でこのお子さんの指導方針を？

富樫 このお子さんの教育はお祖母さんまかせにしないでお母さんがなさる様にと云いましたが……。

平井 お母さんが富樫先生より注意を受けて、これは大変だと思つたのですね。

富樫 でも祖母さんはそんなことはないと言ひ張つていられました。

津守 言語表現などはうまいのですか。

富樫 はあ——。

津守 絵は何うですか。

富樫 それまでクレオンも持った事がないので、クレオンも持てず、画き方も知らないの——。

平井 たしかにそんな面は遅れていたですね。

津守 この辺で指導方針を話していただきたいのですが——その経過とそれによつて何う変つたかを——。

富樫 はあ、私は幼稚園と家庭との食違つた指導はいけないと思つて、その後幼稚園と家庭との融和を精神的に計つたのです。一つには、子供らしく育てて頂く様に、また一つには、時間はかかつてでも自分のことは自分で一人でも出来るように、指導して行きたかつたのです。

平井 幼稚園での直接指導は何うだつたのですか。

富樫 今迄お手洗にも一人で行けなかつたのですが、私は例え失敗しても何でも一人でやらせてみようと思ひました。また家庭の方々にもそうして下さるようにと申し上げまし

た。幼稚園でもずつと私がついて行つていましたが、失敗しても怒らないように——。また自分が出来ないという観念を持たせないように——。また靴をはく時でもどうしても自分で

分ではく気がなく、三十分ぐらいよそ見をしているのです。靴を目の前ではくようにそろえてやつても、全然はく気がしないらしいのです。でも六月の中ば過ぎになつて、少しは靴をはく気持が出て来ました。そして九月の末にやつと一人で靴をはける様になりました。お家にあつても、階段などは歩かせるのがめんどろだと云つて、お家の方が下ろしてやると云うのですね。また、洋服もひどく手が込んでゐるのを着せてこられていて、大人でも、どうやつて着るのか、ちよつと解らないようなものを——。(「笑」)だから子供らしい型の洋服を着せていただけないかとお家の方に申し上げたのですけれど。

平井 お母さんにあまり発言権がない様な気がしますね。

松村 お姑さんですね——その方がお母さんのときの子供さん(今の子供のお父さん)の育て方は?

富樫 一人子だつたので大事に育てたとし

か聞いていないのですが——。

松村 祖母さんはお父さんを育てられたとき、良く育てられ、そのお父さんが今では立派になり社会的地位もあるのだから、それと同じようにやつて行けば、同じ様に育てられると思つてゐられるのではないですか。それにきつと宗教的なものも加わるのでしよう。

その祖母さんがお母さんの時代の宗教は——。

平井・富樫 そこまでは立ち入つて聞けなかつたのですよ。(「笑」)

平井 スキップはいつ頃から出来る様になりましたか。

富樫 五才九ヶ月(大きい組の十一月)に出来る様になりました。

津守 その変化は?

平井 あまり変化というものはなく、段々によりやく出来る様になつたというんですね——。

(入園当初と卒業の頃の絵をみる)

松村 この絵では智能は一〇〇ではないでしょう——。

富樫 ここに絵とその時の調査表とがあります。(三、四枚の絵と調査表を出して見せてくれる)これによると三才八ヶ月の時の智



(卒業の時の絵)



(入園の時の絵)

能は八十八です。翌年の九月に点数式をやり
ましたところ智能は一〇七でした。

松村 智能指数などもこれで見るとずいぶ
ん変つて来ましたね。

富樫 遊び方のルールを全然知らないんで
すね。ひつぱりつこなんかも出来ないんで
す。引かれれば引かれた方について行つてし
まうんです。それから入園当時の運動能力は
一才八ヶ月位の標準だと平井先生はおつしや
つていましたか。

平井 ええ、そうでしたね。

何しろ、柄は大きいので三才児とくらべる事
は出来ませんね。

富樫 四月には立巾とびが五十廻しか出来
ず、ジャングルは三段位しかのぼれませんで
した。

津守 身の廻りの事は一応出来るようにな
つたのですね。

富樫 ええ。

津守 妹が生れた他に、お祖母さんやお母
さんとの関係は？

富樫 あまり問題はなかった様です。

平井 お母さんは先生に云われてから随分
気をつけられたらしいんですが、やはりすぐ

には変らず、ずるずるでしたね。

津守 急に変わる事は出来ませんね。

平井 一般に身長、体重は大きく上です
ね。

富樫 身長は高いけれど体重はそうでもな
いです。足が細いので……。

津守 小学校に入つてからはどうでしょう
ね。

平井 やはり遅れていて、今一年遅らせ様
かと云つて居られるそうです。やはりぼーつ
としていて、お母さんは非常に心配して居ら
れるのです。

松村 全体的に智能が遅れているのです
か？

平井 いや、バランスがとれていないとい
う事で、けつして精薄ではないのですよ。

津守 智能テストをすれば一〇〇出ている
ので別に一年遅らせると云う様な事は必要な
いと思いますが、どうして駄目なんでしょう
ね。

平井 何しろやる気がないんですね。全部
人がやつてくれるのをだまつて待つているの
だから、話だけを聞くと完全な精薄ですね……。

津守 しかし、家庭が極端だとあり得る事でしょうね。

平井 僕もそう思いましたね、三才位までに運動、生活機能を極端に与えられない場合には止つてしまふと思つたんですよ。

津守 知能が遅れていると断言は出来ません。

富樫 何んにも云わないでふつと、「夏が近づく音がするよ」などとぼつんと云うのです、ですので感覚の方は良いんですね。

平井 全然消極的なんです。動かされ、ば動いているんですから。学校の先生がその子供の事を良くのみ込まねば何もその子はし得ないのだと思うのです。何しろ楽天家で、素直なんですよ。

富樫 え、全く素直ですね——。

平井 全然レザスタンスがないし、競争意識もないですね。

津守 小児精神病の疑いはありませんか。

平井 さあ、わかりませんね。自分から一歩前進するところがない子供です。一応環境に大きな問題があると思いますね——。しかし環境はどうあつてもそれを破つて前進する子供もあるのですからね。

津守 環境のせいだつたとしても、それはあまり極端過ぎますね。

村田 何かの音楽雑誌に「僕の自叙伝」というのが書いてあつたのですが、その子供のお父さんがたしか、何か変つていたという様に覚えています。

富樫 お父さんは音楽を趣味でやつていらしたのが、家は大地主で生活の心配はなかつたし、この時代で芸が身を助けるというのでなさつたさうです。

村田 お父さんの印象はその子供の逆ですね——。

平井 妹さんはそれに対して全然アクティブですね。お母さんは何しろ一生懸命なので感心しますよ。僕の家に来て人形をこわして行きましたよ——（笑）

自分でからを破るという事は全然出来ない、極端にこゝに進んで来たという感じですね。子供に何かさせるという事は、可哀想だとお祖母さんが思つているらしいんですね。でもたとえ性格がそうであつても、もう少し智能があつたなら、そのからを破つていると思いますね。

松村 得意なもののは？

富樫 音楽は好きでうたいます。自分のあまり好きでないうたを先生がやつていても、自分の好きならた（知つているうた）が出る迄おとなしく待つています。

平井 い、面を自分で伸ばすという力がないので、小学校でそのバランスを破つてい、面を先生がひき出してくれ、ばよいが——。

松村 たとえば行事とかさういうもののへの興味は？

富樫 卒業の頃、劇あそびをする予定だつた事がありました、その時、早く劇をしようしやうといつていらっしゃるです——。又雪あそびをしやうと云つていると、しやうしやうとさいそくします。

平井 算数は？

富樫 数が全然わからないんです。文字は読むことはできますが。

松村 親から離れたけれども、今度は先生から離れなくなつた。このことを考えると、大人が幼きかけの力を強くださないで、他の子供の方から協力してその子供をよくすると云う様な形はとれないものでしやうか。

平井・松村 えい、そうですね——。

松村 こういう子供には、幼稚園生活をは

じめたからといってすぐ、自立化をはかるのではなく、親から先生へバトンを渡し、先生が遊具を媒介としながら子供と遊ぶようにして自立化・社会化へと向けるのがよいのではないでしょうか。

津守 さて、今までのことをまとめてみますと、指導して部分的には効果が上つた様にも思われますが、しかし、まだ三才児よりも劣る事も沢山みられますね。

家庭では、先生方から云われてお祖母さんからお母さんの手に大分入つたが、こちらで云う程そんなに変化しませんでしたね。

この問題が起きる前に、仮説として極端な養護的な育て方をしたのだというわけでしたが幼稚園の指導にも拘らず家庭が、それ程変化しなかった。

そういう事で余り利き目がなく、小学校では現在幼稚園の段階の延長である。一体、こういう子供を幼稚園で扱う時にどういう指導方針をとつたらいいだろうか、もう一度考えてみましょう。

平井 性格的に非常に受身であつたという事、だが大人がこれを引きつけその子の性格をとらえる事が出来なかつたというところに

欠点があるのだと思いますね。でも何しろ極端過ぎますよね――。

津守 家庭から一度離してみたいという気がする子供ですね。

松村 幼稚園の先生がその子を預るといふようなことをやつてみるのも、できればしてみたいですね。大変だけれど。

津守 でも短期間では駄目ですね――。家庭の問題が根本的に改革されないと。

村田 小学校の先生と連絡をとつたらよいと思います。

津守 今度この様な子供が入つて来たら、専門家にみせ、個人指導をして行つたらいいんじゃないかと思えますね。そして家庭の指導をも。

松村 問題の子供が出て来た時は、子供自身に重点をおいてみて行くか、又先生を媒介して、その子供を見て行くかが、解決して行く最初の糸口として大切な点だと思えますね。

堀合 幼稚園で教育する事と、家庭で教育する事を平行してやつて行く事が大切だと思います。またそのお子さんがもっている音楽の好きなところを伸して、特殊教育をして、

その道で社会に出られるようにしてあげたらと思います。

例え異常児であつても、特別な才能があればそれを導いてやる事が大切であると思えます。

津守 ではこの辺で……、どうもおそくまで有難うございました。

予 告

第七回日本保育学会大会

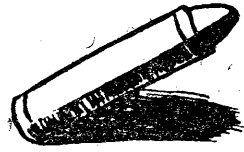
日時

昭和廿九年五月三十日(日)
午前九後より午後四時まで

場所

神戸市山手女子短期大
学開催予定

詳細は頤栄短期大学内準備委員宛
照会のこと



先生方のために

職員室の精神衛生

——あなたは朝パツと起きられますか——

平井信義

夜中にふと目がさめると、あなたのつとめておられる幼稚園或いは保育所のこと、特に仲の悪い同僚や、気持の合わない園長のこ

とが頭に浮びそうになるともう、なかなかねつくことが出来なくなつて、朝方までまんじりとしなかったり、或いはうつらうつらしてしまふというようなことはありません。

この様な日があつただけで、或いはこのような日が続くと、当然朝はパツと起きられなくなりましょう。体がだるかったり、頭が重くて、戸外はさわやかな五月だというのに、床の中で起きるのを一分伸ばしにすることになってしまいます。

そのように朝の調子の整わない気持の背後では、もう一つ、あの職員室へは入りたくないなあという気持が糸を引いていると思います。ですから余計床の中に体が重く沈んでしまいます。起きられな

いのです。

床の中であなたは、職員室でああなたの気持を重くしている人のことを思い浮べると、どのような想念にとりつかれるでしょうか。あの人がさえ居なかったら楽しいのだが、あの人がいなかったらもっと積極的に仕切るのだが、——と、その人のいなくなることを考えるでしょう。

しかし、その人がいなくなることは全く考えられない。丈夫だから病気になることもないだろう。或いは、交通事故か何かで……と思うと、パツと想念を断ち切つて、いやいやこんなことを思う自分のいまわしいところが——と驚かれる方もあると思います。

相手があそこを止めないとすると、この気持を解決させるためにはどうしても自分の方から園を止めなくてはならない。しかし、今

止めると家庭でも困るし、何よりも受持っている子供が可哀想だ。次郎ちゃん、義夫ちゃん、道子ちゃん——みんなの顔が次々と浮んでくると、いとおしさに涙さえ浮んでくることでしよう。

職員室のことを考えると、園へいきたくない、然し受持っている子供たちのことを考えると、早くいってやりたい、——こうした矛盾した気持が錯そうし始めると、突然、心臓の鼓動が胸に衝き上げて来ることがあります。びっくりして脈をとってみると、いつもより早くなっている、時々途断えることさえあります。そうなると思いは職員室のことではなく、心臓のことに対する不安が次々と頭を擡げてきて、或いは自分で間もなく死ぬのではないかと、居ても立ってもいられず、遂に大声で家族を呼んだ方もあります。

一度こういうことがあると、絶えず自分の心臓に対する不安がつきまといまいます。子供たちとかけ出すことも出来ません。電車に乗りおくれそうになっても、早足さえ恐ろしいような気がしてきます。従って、園にもおくれる日が続きましようし、子供たちの前でも張切ることが出来なくて、子供たちは絶えず喧嘩をしたり、騒ぎ立てたり、或いは乱暴して園のものをこわしたり、次第に收拾のつかない保育となってしまうでしょう。

このような生活が続いていきますと、更に園に行くことが臆病になっていきます。朝は一層起き出すことが出来なくなります。鼓動

のはげしい日が続いて心臓への不安が募っていきます。医者に診てもらっても、特別心臓に異常はないし、脈の不整などは誰にだっていることを言われ、何か薬をもらってきて飲んではいるが、一向によくならず、自分の特別な心臓だと思ひ込んだり、或いは更に精密な診断法である心電計の検査をうけにいきます。ここでも何ともないといわれて、どうしてよいのか、友人や園長先生からも、近頃は顔色が悪い、からだに異常があるのではないか、ときかれてしまいます。

心臓に対する不安の他に、強い頭痛に悩まされる人もあります。眼が非常に疲れたり、或いは目の機能が何でもないので目が見えなくなるような場合もあります。或いは胃腸に作用して胃がいれんを起したり、長くつゞく下痢になったりする方もあります。

このような場合、いくらからだを休めたり薬を用いても根本的になおすことは出来ませんし、次第に病膏盲に入ってしまうます。それは、作偽点が心にあるからです。心の中いくつかの争いがあって、それが解決されないままになっていると、自分のからだをいためつけることになるのです。体の具合の悪い場所は、心の問題の出店といえましょう。中央部がごたごたしていると、出店に品が入らなかつたり、或いは不良な品しか来ないで、お客の不満を招くような状態と似ています。

従って、もう一度元気のよいからだに立直って、すがすがしい生活を送るためには、先ず心の問題を解決することが急務です。それには、問題即ち同僚との間柄に調和を作り出すように考えなくてはなりません。職員室へ喜び勇んで出かけられるような気持の納得を得たいと思います。

同僚との調和を作るために、姑息的な方法として、「あんな人に構ってられない」と相手を無視してかかることも出来ます。意見の交換も行わず、必要以外のことに口をきかずという具合にしておこうという算段ですが、しかし之に徹することは難しいでしょうし相手の顔を見、動いているのをみれば、やはりこたわらずにはいられないでしょう。

又、自分だけ心が清らかになるように努力するという方法があります。そういうことで宗教に入ろうかと迷う方もあります。それも一つの方法でしょう。しかし、一朝一夕で自分の心を清くすることが出来ると思うのは感傷的で、実はなかなか大変なことです。

或いは一生かかるかも知れないでしょう。

そこで、どうしても同僚と心と心をおつけ合い、意見と意見をおつけ合い、これまで理解していなかった相手の心を隅々まで知りつくすことが大切でしょう。同時に、自分の心について騒りなく相手の意見をきくことです。

それが出来れば、——と歎息する方もあろうと思います。そんなことでわかってくれる相手ではないんだという方もあります。或いは言い出す勇氣のない方もあると思います。殊にこれ迄の女性は、思っていることの発表を半分もしてはならないように訓練されてきたのですから、一層自分の思惑が強くて、お互に話し合うということが出来ないのです。これは残念なことです。

ここで、一つ園長に登場してもらいましょう。園長に出られたらおしまいだ、という職場もあると思います。自分の頭の中にあるワクだけで人を見、その中で人を考える園長だと「出られたら御免だ私たちの気持を少しも理解してくれないのだから」と、表面は園長の話をききながら、心ではそっぽを向いてしまうものです。私には若い人の心を理解することが出来ると自信を持っている園長の中にも案外自分の頭にあるワクだけで若い先生をみよとしている方があります。「いいことを仰しやるけれど、気持がわかってもらえない」と、結局信頼感が出て来ないのです。

若い先生方一人一人の心を育てるためには若い先生方の心から学び取るだけの広さを、自分の心を持っていないでは、難しいでしょう。この心は日常の保育で子供たちと接しているときに持つ心ですから、どの園長もゆたかに持っている宝だと思えます。それを若い先生方に対して持つこと。若い先生は——以下46頁に続く——



この頃の 私の幼稚園

内匠慶子

(先生と一緒に竹馬の稽古)

1 のびのびとした子供に

「先生、一寸来て御覧、はじめて出来るようになったのよ。」と私の手を引張って行くのは、先程から竹馬を一生懸命稽古して居た子である。やっと一人で出来るようになったその姿を、私に見せたい為であった。

F子は十ヶ月程前に父親を亡くし、母親が勤めをもつ不幸な子供である。その上、性的な問題があり、ともすれば陰うつな表情を示す、意欲の乏しい子供であつたが最近非常に明朗になり、自然、遊びも積極的になつて変化して来て居る。ここ二、三日と言うものは何も忘れて真剣に竹馬と取組んで居る。

壁に凭れて足を乗せ、背中を軽く押して歩き出す。一、二歩行けば又落ちる。これを何度も何度も飽きずに繰返して居る。しかしこの努力がとうとう笑を結んだのである。何時の間にかF子は竹馬を上手に扱ふようになって居る。はじめは怖そうに竹にかじりついて居たのが、今ではその手も軽くなり、身体の平均をうまくとって悠々と歩いて居る。その得意満々とした表情！何物かを征服

した喜びのF子の姿。これは自分の力に自信を得た喜びである……この心情がつまり安定感となり、満足感となつて心にゆとりのあるのびのびとしたF子の姿を作つて来たのである。

× × ×

又、或日のこと、食後暫くしてお部屋の中で面白い遊びが始まつた。五、六名の男児が四つん這いになつて一直線上に並び合図に合せて一齊に走り出す。そして積木を一個ずつめい／＼に取つて来ては力一杯走つて帰る。不思議に思つて、何の遊びかと尋ねれば、

「ねずみの餅ひき」だと教えてくれる。その中には、ちゃんとリーダーになる子供が居てお餅になる積木を並べたり、出発の合図をしたりして居る。それがそのグループでは遊びのきまりもよく守られて居て実に楽しそうなのである。

これは自由遊びの風景を二、三キヤツチしたのに過ぎないが、私共の園ではこのように保育の形態としては自由保育を主体として居る。このように全く自由性をもった自然あそびの外に、室内での自由作業を重視して居る。



(ポスターカラーの絵かき)

る。つまり室内に於て、何時でも好きな作業が出来よう環境を用意して居るのである。例えば、のび／＼とした絵の描けるポスターカラーの用紙、それから大、小、各種の紙類、糊、ヒゴ、紐類、木片等の材料をはじめ、部屋の片隅にはままと道具とお人形、絵本等、かめの中には何時でも適度の軟らかさを保たせた粘土を用意して、一人一人の欲求に答えるべく、積極的な働きかけを待つて居るのである。

この中に育つて行く子供達は、実に逞しい意欲をもって、自発的に遊びを工夫、創作して行く。思い／＼の好みの色を含ませた絵

筆を自由に動かして、心の内面を表現して行く子供、王子様ごっこに必要な冠を夢中になつて作つて居る子供、郵便ごっこをはじめめるのか、ポスター作りに専念する子供、又は金魚やお魚を沢山作つていると思うと、そこでは金魚すくいや、魚屋ごっこがはじまつている。このように子供達は、次々に遊びを生み出しては発展させて行くのである。

私共は、それ／＼の遊びの中の一メンバーとなつて、側面からその遊びの成長を見守つて居るのである。このような生活経験をもつ子供達は、だん／＼と自分の考えがはつきりして来るから、思うことがそのまま表現出来るようになって来る。つまり他人の模倣ではなくして、自分自身の直感による表現、言い替えれば創造性が養われて行くのである。

2 きまりのある子供に

「のび／＼とした子供に育てましよう」と言うことは私共の園の第一の目標で、年間を通じてその方向へと進んで来て居る。

絵はその子供の心の現れだ、と言つて居るが、ポスターカラーによる絵筆の跡を見てもその伸びやかなことは最近、殆んど全児に於



(お話に聞き入る子供達)
「おむすびコロリン」

てその姿が見られるようになって来たようである。日常生活態度にもそれが現れ、非常に明朗で、快活で、のび／＼として居り、自分の考えでどん／＼行動(作業やあそび)が出来来るようになって来て居る。つまりどの子供も劣等感と言うものを持たない楽しい社会となるよう(子供の)お互いにどの人格も尊重し合うように導いて居るのである。

だから一人一人の子供が家庭に居る時と、少しも変らぬ楽な気分、即ち精神的な開放がなされて居るから、恥かしがらずに堂々と自

分の思つた事が出来るようになって居る。

しかしその反面又、私共の頭を悩ます一つの問題があるのである。それは、「自由の中にも必要なきまり」換言すれば、躰の根本線をどこに引くべきか？と云う問題なのである。過去に於ける保育では、あまりにも無意味な、形式的な躰が多かつたのではなからうか。又反面、自由を与え過ぎると、我儘、氣儘になり集団の場に於ても、仕度い放題なことをやる結果となるのである。

例えば、

1、静かにお話を聞かなければならない時にゴン／＼隣の子供とお話をしたり、注意散漫になることがある。

2、他人の迷惑を顧みず、遊具を独占したり順番を待たないで先を争う子供がある。

そこで私共は絶えず、このことを反省してこの点を何とかうまく導いて行きたいものと思つてゐる。どうすれば、のび／＼とした中にも自己統制のとれた子供になるだろうか。「必要な場合に必要なきまりの守れる子供」やはり集団生活を営む以上は、この態度がどうしても必要となつて来るのではなからうか。

か。それを無意味に押つけるのではなくて、飽迄も子供自身が理解し、納得したものでなくては身について行かない。それには何か問題(例えば、けんか)が起きた時に子供達で相談して適当なきまりを作つて行くのも一つの方法であらう。

又或時には相当厳しく注意をすることも必要であらうし、それはその子一人一人の性格によつて適当な方法を考えねばならないと思う。「あつさり叱つて、すぐに和睦をせよ」と言つたミスシヨウの言葉も非常に参考になると思う。

ここでもう一つ考えなければならない事は叱る前に何故そうなるか、とその原因をよく考へて見なければならぬ。何故なら、大勢集つた時にお行儀が悪い、と言つても、前で作つて居ることが見えなかつたり、集る時間が長すぎたり、原因をこちらが作つて居る場合が応々にあるからである。

3 形式よりも一人一人の成長を

このようにして考へてみると、過去に於て不合理な形式主義的な催しが沢山あったのではなからうか。例を挙げると、入園式や

終了式の形態、運動会からお遊戯会に至るまで、あまりにも大人本位に考えられ、「見せる為のもの」のようになってしまつて居た。

この場合、一人一人の子供の成長を考へてみると却つてマイナスになつて居る場合さえあるのである。私共の園に於ては最近、一つ一つの行事をよく吟味して、本当に子供一人一人の成長に役立つべく内容や方法を改めて居る。どの子供もみんなが楽しめる催しであるよう(大人本位にならないこと)に気を配つて居るのである。

日常生活の中にも、行事の中にもまだまだ無駄や不合理な点があるから、私共は先ず自分達の生活から改善をはじめている。従来の仕来り通りだからと過すのではなく仕事の能率化を考へて、出来る丈無駄を省き、自由研究の時間を生み出して居る。そして人間的なより深い教養を、たかめると共に豊かな情操を食うべく努力して居る。

これがひいては、子供達の幸福となることを祈りつつ……。

(神戸市立楠幼稚園主任)

保育所生活三十年



篠田加津子

保育界に身を投じて廿九年、自然界に雨の日もあり晴れ渡る秋の日さしもある様に私の上にも照る日曇る日もすごい嵐の日もあった。

多感な乙女心に生みの親の真の愛情を受けなかつた私は幼い子たちに自分の命を捧げつくして見度いと考へ幸に女高師保育科に入学許可された。大正十五年の四月同級生の小関さんと震災でバラック建だつたお茶の水の学び舎に田舎からボツと出の今も思い出すとあの時の自分があわれに感じられる。何故なら

ば二四名中昔の女子師範を終えて研究的に入学した方が十名位外に三十才を越えた方等、私達の様に女学校出たばかりでも東京の方はなか／＼気がきいていてピアノでもバラ／＼とバイエル等終つてしまつた人が多い。勉強は大好で負ける事の嫌いな私だったが、其の方達に吞まれてしまつた様な形で自分自身をどうする事も出来なかつた。小関さんと二人で一室を借りて血みどろの生活をした。でもピアノの練習と筆記のしなをしに時間を費やし映画も一年を

通じ一度位しか見なかつた様に記憶する。

倉橋先生のお講義はかみしめる程に味の出ると申しましようか幼児保育者として自信を持つ事が出来た。私の実習室は神原先生（今は亡きとか）だつた。貴女は純粹ね」とやさしいまなざしが今も思い出されてなつかしい。それ程私は田舎娘であつたのである。

昭和二年私達二人は佐原幼稚園に赴任した。人生の第一歩をふみ出した佐原は印象的で忘れられない土地である。あの子も

あの子も皆立派になつた事と思う。昭和五年四月茂原の私立朝日の森幼稚園に赴任した。始めての開園の事として募集しても園児が少数なので個別訪問をして歩いたが、幼稚園の様な所へ入れる様な身分ではないとか、私の家では孤児院に入れなくとも親がついているとか、私はいち／＼幼稚園の必要性を説いて歩いたのですが五〇名足らずの園児でどんなにもがいてもどうにもならない。私共は大きな夢を持ち水曜と土曜は研究日に當つて園児は平日にし平日は午後一時お帰り、幼児画の研究をお母さん方を招集して語り動物園やら玩具屋ごっこ等次々聞き自分自身は夜を徹してピアノの練習に遊戯を自分のものにするために気狂いの様に体をきたえた。而し笛吹けど人おどらず。二年三年経営は困難になり園長の淋しそうな顔を見るのも悲しか

った。そして郷に入つては郷に従えと言ふ言葉を思い出した。そして保育園と改名して月謝は当時一円五十銭を一月にした。園児の送り迎えを始め朝早くから夕方迄預る様にした。そうすると田舎向なので園児はだんだん数多くなつて来た。乳児保育も始めた。如何にも茂原の土地にふさわしいものである。さてそうなるに園長に保母二名夏季保育の真昼時遊戯室にござを敷く。幼児を裸にする。乾布摩擦をする。着物をぬがせきせ裸体操する。又摩擦する。午睡の後プールの水遊び、プールの水を汲む。重いポンプ今に生れるお腹おかゝえ辛く苦しい。水にぬれたパンツを洗ひ乾かす。着物をぬがせ着せ汗になつたお布団をほす等目の廻る忙しさ。研究時間はなし夜も十一時十二時居残り。日曜日も休んではいられない明けくれがつづいた。睡眠不足過勞等で生れ出る子は弱

い。女中まかせの我が子を見ている暇もない。上の二人の子を失つていたので後の三人は幾分氣をつけたが三人共に弱い。生れ出る日迄園に付き水をお腹にくゝり付けて園に出て飛んだりはねたり。とうとう胃下垂になり肺炎カタルになつた。お暇を戴いて療養生活に入つたが此の時の回復期程のどかな事は私の一生を通じてなかつた。詩を作り歌をよみそして静かに折つた。それも束の間、十五、六才の女中に二才と四才と六才の子を頼んで出て四ヶ月家に帰つて見れば二才の子は重態直に千葉病院へそうこうしている中にある大東亜戦争になつた。当時園児三〇〇名を抱えてあの空襲。家においても園においても死ぬ時は死ぬのですからと其の頃には保護者から信頼される身となつた。が一人でも殺しては大変だ責任重大丁度其の頃県で小児保健指導員の養成があつた其の席

で県の方が保健婦の養成をし度いとお話になつたので私は農村向の保母の養成がして見度いと言つた。県ではそれは丁度良いとの事で厚生学園の中に保健婦養成所と保母の養成所を作り保母の養成を茂原朝日の森保育園に依託され園長が所長になり私が教育主任を命ぜられたのであつた。戦争当時は徴用のがれで応募者もあつたが終戦ともなればたつた五人而も一人は病氣四名の生徒で講師の先生にお氣の毒でいたゞまれない悲しい日々を送つた。戦争のつかれか私は又第二の病におそわれた。今度は乾性の腹膜炎である。而し私は此の養成所を何とかして立派なものにしたいけな

をした好運にも、厚生省から認められ日本三ヶ所の保母養成の指定校になり一人八百円の補助金が戴ける事になつた。こうなると妙なもので生徒募集に歩いたところ一校から十六名も志願者があり三五名にもなつた。嬉しさに泣けて仕方なかつた。でも其の喜びも束の間私は永い間命をかけた此の園を去る決心をした。私は泣いた。泣いて泣いて茂原を去る悲しさに泣いた。どの人もどの家も二十年の永い間のいぶきが、苦勞が、其の時突如主人がそんな茂原とのお別れが辛かつたら茂原の片隅に小さな保育所でも作つたらどうだと言つた。生きかえつた様な嬉しさ。そうだ私は私の一生を幼い子等に捧げつくす積りで此のひさし住いを二十年甘んじてして来たのである。今不在地主で土地を失ひある物は山だけだ。而し茂原の私を信じて下さる方々にお願ひしようそ

して再び立ち上るのだ。それから今日満四年を経過した赤い屋根・白いかべをのぞかせてグリーン色のベンキを塗って明るい園舎理想的な設備もして今こそ自分らしい幼児の樂園を幼児保育の理想境を保育所の在り方と夢みつゝ園児がどん／＼多くなり園舎を増築し最底基準に合致さすべく努力している。

丁度此のお正月で五周年を迎え感無量である。園児は四百五十名保母は二十名である。私は今多くの借財のために心が重い。而し毎日喜々として遊ぶ子供等を見ては胸があつくなり、やがて此の子等が社会の一員として又リーダーとなあて明るい日本を建設してくれるであろう事を想えば自分一人がどれ位借金苦の苦労位は何のそと元氣を出してはおりますが、真に苦痛なものである。

昨年法人組織にしたのであるがこれは私の亡き後茂原の子

等のために永久に樂園である様にしたい念願に外ならない。現在三五名の父親のない又母親のない或は父母が亡くためにあずけられた乳児たちがすく／＼と伸びている。私の足跡と言ってもほんとうに永い丈でとりめもなかった。只私は思う。保育所が貧困階級の乳幼児を保育し。親の手助けをしケーヌワーカーとして家庭の指導に迄当る。而も根本は乳幼児を預つて基本教育をしているのである。

幼稚園は上流階級の幼児を預り教育をする。而も今叫ばれている民主的とは何であるか？金持の子供、貧乏人の子供そんな区別をつけて幼児を育てる事はどうか。私は私共がもつと／＼声を大にして世の人々に乳幼時期の重大さを知つて戴く事だと思ふ。それには私共はもつと／＼研究し不屈の精神を以てやがて私共の前に出現する光明を目ざして一歩／＼階段をふ

みしめるよう進むべきである。

あせつてはいけない。常に自分を正しく神様に恥じない只一途の道を世の人々がそんな心になつた時國家は安定し予算も多く乳幼時期を如何に過ぎせるかを何よりも重大事として取り上げられる時も来る事を期待して止まない次第である。今のお茶の水大学に及川先生がゆるぎない大黒柱の様にでんとして居れる。そして菊地先生のおやさしいにこ／＼たお顔。なつかしい学び舎を築立つて卅年になんなんとするにお二方の先生方のお若いことよ。幼い子供に魂を捧げつくすその姿でなくて何であらう。卅年前とお変りないお婆！私は何か神々しい美しさを感ずる。

暮も押し迫つた頃戸倉先生の洋行帰りをお待ちして戸倉先生にリズム遊戲を及川先生に手技製作を千葉県保育連盟でお願いした。倉橋先生が幼児の遊戲に

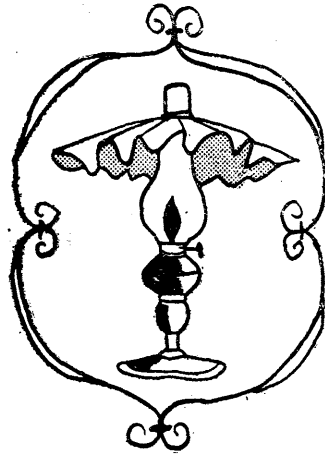
付いて大きな悩みをお持ちになり幼児の生活の中から生活さながらの遊戲を求め／＼て戸倉先生の様な立派な方を見つけ出したのである。尊敬出来る先生方を持つ喜びに自分自身を高め高めて行く考えである。昭和廿九年の年の始めに当りまして千葉県茂原の片隅に皆様と共に雄々しく立ち行く友のあることをお忘れなきよう念じ皆様の幸を祈りつゝ。

(千葉県茂原高師保育園長)

同町保育園長)



幼児の言葉から



加藤清子

たどくしい幼児の言葉。だがのである。

そこにはしばしばゆたかな詩情や鋭い批判があつて、おとなを感心させたり、あわてさせたりする。

「しえんしええ（先生の意）あさ、ぼくきたとき、

おたまじやくし、みんなねてい

たよ、うごかないもん、

新緑のころのすがすがしい朝の

こと。私より先に來ていたひろし

ちゃん（四才五ヶ月）が、ばたば

たと玄關にとび出してきて、おは

よしの挨拶ももどかしそうに言う

でも、じきおきてうごいたよ。」

くるくした目。はずんだ声そ

して、私の手をとって保育室へ引

ばつてゆく。

「じゃあ、お目々がきめて、ひろしちゃんにおはようをしたのね。」

そういえば、三月はじめのある日、窓の外に雪の降るのを眺めながら、

そんな事を言いながら、ひかれ

「先生！

るままに行くと、窓ぎわの水槽の

はやく雪がやんで、

中で、水草をゆり動かして右往左

春がくるといいね。」

往しているまるくとふとつた十

と、ぼつんとつぶやいた女兒が

匹ばかりのおたまじやくし。私は

あつた。これもほとんど無意識に

同意を求めるひろしちゃんに答え

とび出してきて、直ぐに消えてし

ながら、日頃いたづらがはげしい

まつた言葉である。だが実に純粹

ということから問題児とされてい

である。

るこの児にも、このような一面が

毎朝々々、ひとみを輝かせてく

あつたのか、としばらくはそんな

る園児たちそこには一瞬の停滞も

思いにとらわれていた。そして、

なく成長する生命が、目にふれ、

小動物への愛情、率直な驚き、新

耳にし、手にするものをめぐつて

鮮な表現、これらは幼児のもつ最

発する言葉がある。これらはおと

も純粹な美德であるから、私達は

なの固定した考えで汚してはなら

これを失わせぬように注意しながら、

ない。私たちは絶えず白紙になつ

ら、豊かな情操へと成長させてゆ

て個々の幼児の言葉に耳を傾け、

かなければいけないと考えた。

その心を理解し、共感して、それ

を人生の知恵にまで高めてゆくようににはぐくまなくてはならない。

私はひろしちゃんの言葉を口の中であうたうようにくりかえしている
と、これを得ただけでもおたまじやくしを飼育したかいがあつたという満足感がわいてくるのであつた。

× × ×

「先生おしゃれ、先生おしゃれ。」

「先生はかわいいな。」

これは私がピンク色の新らしいブラウスを着ていつた時の、幼児たちのやし言葉である。幼児は服装に敏感だ。

四月はじめ、寒いのでズボンでいたところ、

「先生、スカートはいていらっしやいよ。」と言う。

「今はく丁度いいのがないのよ、」

といったら、

「買ってあげる。」

という。これにはおどろいた、私たちのことを思つて現在の幼児のいわゆる、おませさんには驚くとくに女兒について先日もお母さま方との話しあいするとき、

「今時の子つたら、おしゃれで厭になりますわ。毎朝あれがきに入らぬ、このスカートがわるいのいいのと文句をいいますし、パーマントをかけたがりましてね、この寒いのにズボンをいやがつて。」

と一人が言うと、みんな「本当に、本当に」とあいづちを打ち、
「私がP・T・Aに出る時の着物の世話までやくんですよ。」

「私共の女学生時代は、髪にこてをあてても不良つていわれたものですのに。あんな小さいくせにあきれますわ。」

「このあいだもお友だちと、マニキュアの真似をしましてね、爪に赤いクレオンを塗つているんですよ。」

とおしゃべりがはずんだ。

「A先生のブラウス、赤くて胸のビラビラ（フリル）をひもで結んであるからA先生大すき。」

といった子供を、そのときは何とませているのかと、一寸不快になつたのであるが、お母さま方の話しあいをきいているうちにうなづけるような気持になつた。幼児たちは先生が絶対的な存在であるだけに、なかなか関心をもつてゐる。そして服装は一ばん眼につき

（松本市立松本幼稚園教諭）

× × ×

× × ×

知識の正しい粉乳



典 長 垣 稻

乳幼児における粉乳の問題は、それが彼等の主食とも考えられるもので、重大である。最近アメリカの栄養学雑誌には牛乳及乳製品の蛋白質の栄養価の問題が多く取上げられ、ある報告者は乳製品が加熱されることによって、その中に含まれる蛋白質の栄養価は低下すると言っている報告者は低くせずと言ひ、このようにその説まち／＼である。然し此の問題については、シュレーダー等が、解決している。この点は後で述べる。こととして、先ず粉乳の一般的な常識について少し述べてみたいと思う。

一般に粉乳と言うのは全乳又は一部脱脂乳、脱脂乳又は全乳にクリームを添加したものを原料として、そのまゝか又はこれ等に砂糖などを加えて大気中か又は減圧中で蒸発乾燥して水分を除去したものを言っている。

吾国では法規があつて、その法規によつて夫々の組成がきめられている。例えば、全粉乳と言うのは脂肪含量が二五%以上で水分が五%以下のものを言ひとし、又、脱脂粉乳は水分が五%以下であること、又調製粉乳は脂肪が一六・五%以上で水分は矢張り

五%以下であることが必要とされている。その他一五%が糖粉乳と言うのがあるがこれは脂肪が一・五%以上で、水分は同じく五%以下であることが必要とされている。いづれにしても粉乳は牛乳が原料で、加熱と言う操作が行われるために、粉乳を水にといた場合に、全く牛乳と同じものが出来ると言ひわけにはゆかない。

例えば牛乳を加熱して行くと酸度がどんどんと上る。これも温度の上昇に比例して酸度が上つて行くものである。

この酸度の上昇に面白い現象がみられるそれは加熱することによって一旦酸度が低下してその後上昇して行くのである。例えば次の表の如くである。

加熱の程度	酸度 (C. C)
生 乳	1.72
60° C 30分	1.72
80° C 30分	1.68
100° C 30分	1.80
120° C 30分	2.04

この表のように一度八十度の所で酸度が低下している。この低下原因は何故かと言ふとこれは加熱されることによって牛乳中

に含まれている炭酸ガスが消失して酸度が低下するため、その後の加熱によって又酸度が上昇して行く。それは、最早炭酸ガスは全部消失してしまい、その影響が取除かれた後は、今度は牛乳中にある乳糖が高温のために段々と分解して行くためである。

乳糖が分解すると何故酸度が上昇するかと言うと、乳糖の分解によって乳酸とか酢酸と言うような酸が出来るためである。このように牛乳が加熱されるとPHは、酸性側に近づいて来て凝固と言う現象が起る、正常の牛乳でも普通一四〇度位に温度を上げると凝固しはじめる。夏、牛乳を放置しておくとも凝固するが、これは乳酸菌又はその他の雑菌の繁殖によつて乳酸が生成してその酸のために牛乳中の蛋白質が凝固するのである。結果においては加熱によって酸が出来て凝固するのと同じである。たゞ加熱によつて凝固するのは乳糖の分解で酸が出来てその酸のために凝固するのであって、夏の放置乳の凝固は空気中から飛び込んだ細菌のために酸が出来てその酸のために凝固するのである。

大体牛乳が加熱された時の変化の大きな

ものはこの凝固現象であるが、その他に外観上では皮膜の生成、とか褐色化とか又、粘度の上昇と言うような変化がおこるし、又風味から言っても特殊の加熱臭とも言えるような、風味を発生する。

これらは多少なりとも牛乳中にある蛋白質の物理的又は化学的な変化である。

この蛋白質の変化が結局、粉乳の溶解度にも又保存性にも又、色調にも又栄養価にも関係が甚だしいもので、この現象を研究してゆけば夫々の問題は解決されて行く、開缶後の粉乳が溶けにくくなったり、又特殊の風味が出たりすることは多くの人が経験することである。

この溶解度の低下や悪い風味の発生の防止のためには、勿論、使用法が適切であることは言うまでもないが、粉乳の製造法の改良によつても防止出来る。

これらの点について少し詳しく述べてみると少くも粉乳と言うものは温湯とか水に溶解した時にもとの牛乳と同じような乳化状態になることが必要なのであって、かたまりが出来たり又変な風味が出たりすることは望ましいことではない。

粉乳をつくる時の最初の操作に煮沸と言うのがある。この操作の目的とする所のものは殺菌である。この殺菌法は、一方牛乳中にある脂肪を分解する酵素を破壊すると言う目的にもなるので是非共行わなければならない操作である。そこでこの加熱温度によつて出来た粉乳の溶解度がよかつたり悪かつたりする即ち溶解度に影響するのである。

溶解度を損しないためには少くも七〇度以下であることが望ましい。そのためには一般によく言われる六三度三〇分と言う低温殺菌法が最も理想的なのである。

この程度の温度であれば殺菌の目的も達せられるし又、製品の溶解度も低下しないからよいのであるが、一方において、この程度の温度では先き程述べた脂肪を分解する。酵素(リパーゼ)が完全に破壊されないで残ってしまうので、出来た粉乳を貯えておくうちに牛乳脂肪の変質がおこり、風味を害してしまうのである。

実際にこの脂肪を分解する酵素を破壊するためには少くも七八度以上の熱をかけなければ完全ではないのである。

溶解度を損わないためには七〇度以下がよいし、風味を保持するためには七八度以上にしなければならぬと言ふ所に、この製造法の苦心がある。

現在ではその中間的な温度の七〇——七五度の温度が用いられているが、これは一時的なもので少くも、この荒煮温度と言ふものは溶解度と風味の両面から尙一層研究しなければならぬ問題だと思ふその後の温度については、いずれもそれ程高くないから、この温度による心配は起らない例え、濃縮にしても、最近是比较的低温（五〇——六〇度）で行われるし、乾燥も近代的な噴霧式のもので、行われているので温度は荒煮温度以下にあるから温度によつて起る不溶解の原因にはなっていない。結局最初行われる殺菌温度（荒煮温度）が最後までその品質即ち溶解度に影響するものである。

要するに加熱されることによつて牛乳の蛋白質が化学的分析では見出すことの出来ないような変化（物理的性質）を起すのである。

もう一つ溶解度に関係する因子は水分で

ある。これは開缶後の問題になるが、即ち缶を開けたてはよく溶けたものが、缶を開けて使用しているうちに、溶けにくくなると言ふことがある。結局これは何も熱がかつていゝのでないから、熱のためでないと言ふことは分る。それでは何故かと言ふとそれは水を吸つたためである。即ち水分量が増加すると溶解度は低下する。

大体粉乳の水分は五％以下であれば保存中に溶解度の低下することは極めて僅かである（三％以下の方が一層安全である）結局粉乳が水を吸うと溶解度が低下することは事実であるが、何故に水を吸うと溶解度が落ちるか。これには大きく分けて二つの原因があるその（一）は水が来ると粉乳中の無水乳糖が水のために結晶性の含水乳糖になり、この含水乳糖が軟塊になる。その（二）は、粉乳中の磷酸塩が溶解性のカゼインカルシウムに作用してそのカゼイン、カルシウムからカルシウムを取つて磷酸二石灰又は磷酸三石灰となつてカゼインが遊離されるためにカゼインが不溶性であるから、それを含む粉乳も不溶性になる。

この二つの理由即ち乳糖とカゼインとの

理由によつて溶解度が低下して行くのである。

要するに粉乳の溶解度に影響する因子は熱と水であつて、熱すれば酸が出来て凝固性になるし、水があれば、軟塊性の含水乳糖になり又溶解性のカゼインカルシウムからカルシウムを遊離して不溶性のカゼインとなるためであるから、加熱と水に注意すれば溶解度低下を防止することが出来るわけである。次に粉乳の保存性の問題である即ち開缶後どう言ふ理由で変質するのと言ふにある。この変質を起す原因となるものには次の二つがある。

即ち

- (1) 酵素作用による変質
- (2) 自己酸化による変質

で(1)は前にも述べたように脂肪分解酵素、(リポキシダーゼ)によつて行われるもので、この酵素を製造中に破壊しておかなければ、いくら使用上の注意がされても一寸無理である。

即ち殺菌温度を高く例えば七七度三〇分位とか八二度一〇分位にしておけば安全であるが、前述したように溶解度は低下する。

中々うまく行かないものである。

又②の自己酸化による変質これこそ貯蔵中におこる大きな欠点であつて、その原因は脂肪の酸化による変質臭の発生である。

これを防止するためには結局、空気にふれさせないようにすることで、現在行われているガス充填法とか、真空充填法は有効である。もつと積極的には酸化を防止するような薬品を添加しておけばよいが、このような薬品の使用は乳幼児の主食とも言える粉乳に利用することは問題であるので慎重を要する。一般にこれらの風味損失の原因となるものは脂肪によるのであつて、脱脂した粉乳は概して起りにくいのである。

この外に保存性に関係のある問題としては、粉乳を長く保存するとそれ自体褐色化してくることである。

これは最近の研究によれば牛乳中の蛋白質の遊離アミノ基と還元糖のアルデヒド基との反応によつて生成する複化合物によると言われている。この複化合物が生成される条件として矢張り水分が関係する。水分が五%以下であれば、この様な反応がおこりにくいと言われ、実際に水分の点を注

意しておけば、褐色化は防止出来る。

粉乳の溶解度と言ひ保存性と言ひいずれも、その原因となるものは主として牛乳中に含まれる蛋白質が大きい原因となつてゐる。

これが又褐色化の原因ともなつて言うこととで粉乳中の蛋白質の問題は品質の上からも重要であるが、これは又栄養面からも非常に重要な問題である。

はじめに述べたように粉乳中の蛋白質は加熱されることによつて栄養価は低下すると言ふ説も、これが事実なれば矢張り一応考えなければならぬ問題である。

そこで次にこの問題にふれてみよう。少くも牛乳蛋白質の主なるものである。カゼインは加熱されることによつて栄養価が低下することは最早多くの学者が認めている事実である。

即ちカゼインを構成しているアミノ酸の一つであるリジンの遊離が加熱のために困難になるからである。

然し粉乳となつたものを更に加熱すると栄養価は急激に低下すると言われる。そう

なると実際に乳幼児が飲む場合には、粉乳を水でとかして、ある程度稀釈して、それを加熱して飲むことが普通であるのでこれによつて、粉乳中の蛋白質の栄養価が更に低下するようでは誠にこまることである。

そこでシュレーダー等は、この点について詳しく実験して明解な答を出している。

即ち加熱による粉乳中の蛋白質の栄養価低下の一つの原因は先きに述べたアミノ基とアルデヒド基（アミノ酸と糖との結合）の結合によつてアミノ酸が有効に使用されないためであるが、その反応が起る条件としては水の存否が非常に影響する。もしも水が無い場合はその反応は非常に速かに起るが、水があるとこの反応はおこりにくくなる。この反応が起らなければ加熱による栄養価の低下は起らないのであるから水の存在の下であればよいわけである。

このことは誠に都合がよいことで水に粉乳をとかしてから熱をかけると言うことは粉乳の栄養価の低下を来さないと言うことになる。

最近の粉乳は殆んど調製粉乳と言つて多

くの種類のビタミン、無機塩類を添加している。

この添加量は一つの基準があつて、その基準の下に行われている。

即ち生後三—四ヶ月の乳児が一日に飲む量（約一〇〇〇・C）に加えるべき各ビタミン、無機質の量が、きめられている。それ以上又はそれ以外のものは、随意であるので各社では色々のものを色々の量に入れている。

一つその基準量を上げてみると次の如くである。

Ca	Fe	ビタミン	B ₁
1.0g	6mg	1500I.U.	0.5mg
B ₂	ナイアシン	C	D
0.6mg	4mg	25mg	400I.U.

これらの栄養素のうちでビタミンAは強い酸化作用を伴わない限り殆んど変化しないし、ビタミンDはAよりも一層安定であるから心配はない。又ビタミンB₂は直射日光にさらされるかアルカリ性にならない限り

り殆んど変化しないからこの点も貯蔵加熱の時に注意すれば安心である。たゞビタミンCとB₁は加熱すると損失が大きいからその点は十分注意する必要がある。

（農博・お茶の水大学教授）

33頁より続く 我がままでもいいましよう生意地な意見も出すでしよう。ねちねちしたものや言い方をするでしよう。或いは反抗してくる人もいまましよう。しかし、それらをよくきいて、その中にあるよいものを育てていくという職場の空気——そういう職場に入っていくと、しつとり落付いた、そして蟠りのない空気を感ずるものです。めいめいが認められて仕事にいきしんでいる姿が目にとまります。各々が認められて、それぞれの生活を楽しんでいるときには、同僚間のいさかいは多少あつても、その本人を苦しめさいなむことはないのです。

× × ×
× × ×

第二回

キンダーまつりの開催

こどもの日には今年も全国各地で多彩な催が繰りひろげられることとしようが、弊社はこの日にさきがけて五月三日、お子様方と楽しい刻を過ごしたいと、左記の通り第二回キンダーまつりを大阪に於て開催することと致しました。

日時 五月三日（月）午前九時、午後一時（二回公演）

会場 大阪市中央公会堂

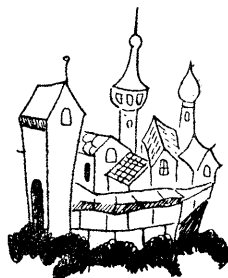
催物

- 一、独唱 安西愛子先生
- 二、舞踊 賀来琢磨先生振付
京都児童芸術研究所
児童
- 三、映画 色彩傑作漫画

株式会社 フレーベル館

小さいあげはの子

鈴木正子



はしがき 保育室に昆虫飼育箱を置くようになつてから子供達は、なおさら虫がすきになつた。六月末のある日のことSちゃんがあげはの幼虫を三匹程、からたちの板にとまらせて持つて来てくれた。

前々から飼つてみたいと想つていた虫なのでうれしかった。飼育箱の中は丁度かたつむりで一ぱいだったので、大きなびんに砂を二センチ程入れてその枝をさし、ガーズでびんの口をおい幼虫の家とした。さてその日から幼虫の唯一のごちそうの、からたちが必要になつた。若いやわらかい葉を、傘をさして子供達と取りに行つたこともあつた。

幼虫は、良く入れてやつた葉っぱをたべ

た。始めの中は黒い何だかきたならしい幼虫に子供達も無関心だったが、毎日えさをやつている中に他の虫たち同様に愛着を感じ出したらしく、七月に入つた頃には大変積極的に世話をするようになった。一晩の中に黒いきものが緑に変つていたり、みどりだつた芋虫が一寸の間に蛹になつてしまつたり、子供達は一々驚るいたり感心したり、びんの中のをぞく顔も真けんになつて来た。

もうすぐ蝶が生れる最終の段階までやつて来た頃に、夏休みが近づいて来た。

夏休みに入る前に、どうか蛹から蝶が生れてくれることを祈つていたにもかゝらず、三つの蛹は一つも蝶にならなかった。

終了の日、子供達は心をのこしてかえつて行つた。私はみんなの代りに良く観ておく約束をした。そこで私はびんを家に持つて帰つた。その日から毎日三つの蛹とにらめっこをして、蝶の誕生をまつた。

三つの蛹の一つはとうとう何も出て来なかつた。一つは生まれながら、からがうまう取れないで死んだ。そしてたつた一つだけが立派な蝶になることが出来た。

後半に至つて私は、蝶と一緒になつて思いがけない心配をしたり、よろこびにひたつたりする様になつた。私はつくづくと幼児達と此処まで一緒に観たかつたと思ひ、無計画な飼ひ方をしたことを残念に想つたのである。

私は二学期に入ってから幼児たちとその経過を報告したがどうしても物足らず、何とかしてこの蝶の成長の有様を幼児たちに一貫して知らせたい、又小さいものゝあわれきと、小さいながらも伸びようとする命のたくましさ——。そうしたものをお話にして見たいと思うようになった。

そして生まれたのが此のつたない一編であつた。

幼児たちはこの話を興味をもって聞いてくれた。お話をしながら私は又是非あげはの幼虫を飼つてみたいと思つた。

今度こそ大きな蝶々になるまで、みんなして育ててみたいものである。

小さいあげはの子

ある夏の空の青く晴れた日でした。黒いきものに黄色い紋を染めぬいた、あげは蝶のお母さんは、さつきからひらくと高く低くとんでいました。お母さんの蝶はどこに卵をうもるかと考えているのです。その時です、あげはのお母さんは小さい頃すきだった、からたちの葉っぱを想い出しました。あの木はとげとげのいたい木ですが

若い葉っぱは何とも言えないおいしいおいしい味がしましたっけ、あ、あの木がいいお母さんは、今とんで来た道をひきかえしました。そして学校のまがり角にある、からたちの葉のうらがわに卵を一つうみしました。「早く大きくなるのよ」とお母さんは卵にそうさ、やくと、又ひらひらと舞い上りました。そして安心したようにとんで行つてしまいました。からたちの葉に卵は落ちないようにしつかりとつかまつて居りました。「早く大きくなるのよ」と、からたちの葉っぱも卵にさ、やきました。

雨がふつても卵は葉っぱと葉っぱの間で安心して居ることが出来ました。風が吹いても卵は葉かげで眠ることが出来ました。だれにもだれにもみつからないで、卵はいることが出来ました。その日も空の青く晴れた日でした。ちよいとお母さんが産んでから六日目のことでした。卵はぼっかりともむしに生まれ変わりました。小さな小さな、眼に見えない程の黒い、いもむしの赤ちゃんは、頭を少しうごかして見ました。小さな赤ちゃんは、みじかい足をのびして見ました。次からたちの葉っぱの、はし

からはしまでを長い時間をかけて歩いてみました。赤ちゃんは、だんだんおなかづすいて来ました。

「私をたべてごらんよ」と、からたちの葉が教えてくれました。赤ちゃんは小さい口で少しばかり葉っぱのはじをかんで見ました。それはやわらかいおいしいものでありました。赤ちゃんは、もくもくもくと歩いては、葉っぱのごちそうをいたたきました。

ある日のこと、お母さんはお兄さん蝶をつれてやってきました。兄さんも又お母さんのように、きれいな羽根をして居りました。兄さんは小さい弟をみてよろこびました。

そして「坊や仲良くしゅうね」といいました。お母さんは「坊や、兄ちゃんのいうことを良く聞くのですよ」とおっしゃいました。坊やがかわいい頭をふると、お母さんは又安心したように高い空にむかつて、とんで行つてしまいました。

「もつともつとお喰べ、からだがみどりに変わるまで」お兄さんはいいました。赤ちゃんはそういわれると、もつともつ

と元氣が出てよりもりと喰べました。

そうして幾日かたつ中に、赤ちゃんは立ばな子供のもの虫になりました。頭に一寸白い帽子をつけて、あちらこちら歩けるようになりしました。いも虫は何とかし、もっと遠い所まで行って見たいと考えるようになりました。

いも虫は毎日遊びにやつて来る兄ちゃんに、そうとそうだんしました。けれど、お兄さんはその度に首をふって、まだまだいけないといいました。いも虫はとうとうある朝、だれにもだま一つで一人で出掛けることにしました。

からたちのとげとげの枝から枝へ、そろ／＼つたわって歩いて行くことに致しました。何とかして歩いて行つたなら、もっと／＼良い所に行けるような氣が致しましたから――。

しばらく行くにあちらから、はねをひからせたこがね虫のお爺さんがやつて来ました。お爺さんはひげをうがかしながら、どこに行くのかと聞きました。

「いいところへ行くの」いも虫は元氣いっぱい大きな声で答えました。

「何、いいところへ行くのだった？ そ

の短かい足でねえ」といいました。そして「まだ早い早い」と首をふりました。いも虫の坊やは首をもち上げて、不平そうにからだをふくらませ、「だって」といいかけましたがお爺さんは、やつこらやつこら行つてしまいました。体中が汗ばんで、いも虫の坊やは急にくたびれて、ひとやすみしなくなりしました。じつと、からたちの枝に止まって息をしずめて眼をつむりました。そしてどの位たつたでしょう――。

「けんけんけむし はだかむし

あめにぬれたら つめたかろ

はっぱのかげに かくれても

おまえをさがす とりがいる

とりのおめめは まあるいぞ

はやく はやく ちょうとなれ」

という子供のうたごえに、いも虫は小さな眼をあけて見ました。子供が二、三人足を止めてうたっているのです。

「ね、あげはの子だよ。今はきかない虫だけれどいまにきれいな蝶になるのだよ」大きな子供が小さい子供に説めいしてやっているのがきこえました。みんな良い子ば

かりでした。そして又歌をうたいながら行つてしまいました。いも虫は耳をかたむけて、はじめて自分のうたを聞きました。そして、はじめて自分もお母さんやお兄さんのように、きれいな蝶々になれるのだということを知りました。それから自分を喰べに来るこわい鳥のいることも知りました。

お兄さんも、又こがね虫のお爺さんも、遠い所へ行つてはいけなと言つたわけもわかりました。いも虫はそうすると急に、はかげの家が恋しくなつてまいりました。

いも虫の足は急に家の方に向かって居りました。

「お兄ちゃん、お兄ちゃん」と、知らない間に大きな声で言つて居りました。でもいも虫は、帰るみちの枝の上から下の水たまりに、自分をうつす事を忘れませんでした。水溜りにうつつた自分は、なる程まっくろな足の短かい頭の大きないも虫でありました。ほんとうだ、ほんとうだと、いも虫は首をすくめて言いました。お兄さんは心配していも虫をさがして居りました。鳥に喰べられてしまったのかと泣いて居りました。

翌日から、いも虫の坊やは遠い所へ行くことをやめました。時々じっとして「早く蝶々になりたい」と、そればかり想っている目が多くなりました。いも虫の坊やは、からたちの葉も喰べないでじっとしている日がつづくようになりました。幾日たったでしょう――。

ある日のこと、お兄さんがやって来て、「もうその洋服もぬぎましょ」と申しました。いも虫はびっくりして、「どうして？」と聞きました。「又一つ大きくなるのです」とお兄さんが教えてくれました。そう言えば、もう黒い服は、どこからどこまできつくて、一寸うごけば破れそうでした。洋服をぬいでは一つづつ大きくなって来たいも虫の坊やは、今度は四つになるのです。いも虫はいよく蝶々になれるのかと想いました。そして、少しづつ少しづつ洋服を後え後えとずらしてぬいで行きました。

翌朝のこと、おとなりの天とう虫のおばさんに先ず「まあ、大きくなって、綺麗なきものだこと！」と、おどろかれました。いも虫は、もう蝶々になれたのかと、大き

な頭をふりながら水たまりをさがして自分をうつしてみましたが、残念なことにあの大きな羽根は、まだ生えておりませんでした。でもそのかわり、美しい緑の服のすばらしいこと、葉っぱのみどりと同じよう、そしてせなかには黒いしままで入って居りました。

「あ、うれしい！」と、大きくなったいも虫は大きな声で言いました。みどり色のいも虫になると、もともと元気が湧いて来ました。お兄さんのおっしゃることを聞いて、せっせとたべて良く運動することに致しました。そうすると大きな大きなあげは蝶になれそうな気がしたからです。いも虫はやはり遠くに出かけることをやめました。何時お兄さんが大切な仕事をいつけるか分かりませんでしたから。

ある日、とうとう大切な仕事をする日がやって来ました。お兄さんは、いも虫の所に来て「しっかりした枝を探しなさい」とおっしゃいました。いも虫は中でも太そうな枝をみつけてお兄さんをよびました。お兄さんは、「さあ、いよく蝶々になる仕度ですよ。これから、あなたは蛹になるの

だよ。一度かたいからの中に入ります。そして、この次うまれる時こそ蝶々になれるのですよ」と、いも虫の頭をなでていました。

お兄さんは「さあ、口から糸をお出し。そしてあなたのみつけた枝にしっかりと、おんぶするのですよ。そうしっかり、しっかり」と、はげまして下さいました。

いも虫は頭をまわしては糸を枝にかけました。いも虫はお兄さんに言われる通りに致しました。そして何とかして枝にからだをとまらせようとなりました。

「ちがう、ちがう。おしりの先で枝にとまって、足を上にしてさ」と兄さんはおしえてくれました。いも虫は今度はまちがうまいとがんばっている中に、とうとう枝にとりつくことが出来ました。じっとそうして止まると、体中ががたくなったような気がして来ました。

「あ、出来たね。ではおやすみよ」とお兄さんの声が遠くにしたような気がしました。いも虫はそのまゝの形で、だんだんかたくなって行きました。いも虫のまわりには、みどりいろのうすいからがはられて

ふくろの中に入ったような形になってしまいました。いも虫はいつお兄さんが又遊びに来て下さるだろうと想いながら、何時の間に、ぐっすり眠ってしまいました。

青空に白い雲が、ぼっ かりぼっ かり流れて行きます。それはそれは大きな羽根でした。二つの羽根をうごかすと、どんな高い所までもとべる様な気がしました。花が沢山咲いて風にゆれていきます。白い花に、青い花に、赤い花に、いも虫は次々と花の家をたずねてとびまわりました。花はおいしい蜜をいっぱい溜めて、まっ いてくれました。花畠の中にはいつかの、こがね虫のお爺さんも居りました。

「お、お、きれいになったのう。もうどんな遠くにでも行つて良いよ」といいました。てんとう虫のお婆さんも、又あおいも虫の子供のころ会った子供たちも「きれい、きれい」と、手をたゝいて見送ってくれました。いも虫は、どこまで高くとべるものかと考えました。お日様の所、そうだ、そうだ、あそこまで。いも虫は羽根をいっぱいうごかしてとぶことにしました。上へ！ 上へ！ 上へ！ 上へ！ 羽根は

いくらとんでも疲れませんでしたがお日様に近づくと、さすがに芋虫はのどがかわいて来ました。それに、まぶしくてまぶしくて想わず眼をつむりました。あ、暑い、あ、暑い。

その時「もう起きるのだよ」という声を芋虫は聞きました。

「もう少しなのにと、いも虫は言いました。

「寝ぼけてはいけません。とうく蝶々になれたのだよ」それは聞きおぼえのあるお兄さんの声でした。

芋虫はびくつと体をうごかして起きようとしてしました。みんな長い長い夢だったのです。体を動かすと、きうくつな固いからものがざりとうごきました。何時の間にか、からとからだが別々にはなれていることに気がつきました。うす茶色のからを透かして外を見ると、お兄さんが早く早くと呼んで居ました。思いきつて首をふりますと、からの背がぴーんと割れました。からのわれ目から羽根を卷いたまゝ、すべり出しました。もういも虫ではありませんでした。

「ばんざーい」子蝶は大きな声を上げま

した。たゝんだ羽根を順々にひろげて行くとお兄さんと同じもようが出て来ました。長いひげもありました。大きな二つの目もありました。

「お目出とう」とお兄さんは羽根をばたばたさせてとびまわりました。

「ちょうどお母さんが卵を産んでから、三十日目です」と、からたちの葉が言いました。

とうく小さいいも虫の赤ちゃんは、あげは蝶になれたのです。

夢にまで見た良い所へもう一人でも行けるのです。

子蝶は先ず水溜りをさがして自分の姿をうつして見ようと想いました。

さあ、これからどんないいことがまっ いてでしょうね。

「子蝶さん、おめでとう」とみんなも言つて上げましょうね。

(群大附属幼稚園教諭)

○「柱のきずはおとしの、五月五日のせいくらべ」五月の大空に勇ましくひるがえる鯉のぼりを眺めながら、子供達は毎年毎年成長していく。一昨年より昨年、昨年よりも今年と、年輪を重ねながら、私達の幼稚園、保育所も、生い育っていく。

五月号には、「幼児教育の当面する諸問題」として各方面の先生方の御意見を集めて特集としたが、

これも、どうか私達の日本の子供達が健やかに育つていくようにという意からである。

とかく私達の社会では進歩が一方に偏し易い。原子爆弾が出来る科学が進歩しても、社会の組織や人間の心は、それを十分に使いこなす程進歩しない。だから折角の進歩も悪用されてしまう。何も原子爆弾に限ったことではないので、社会の諸事万般がそうである。幼稚園の子供達がどんどん増えても、設備や材料はそれに伴っていない。自動車がどんどん

編集後記

増えても、それを取締まる規則や、道路の改良がそれに伴わないから、街頭事故を起す子供の数が増えてくる。日々、月々、幼児の教育も工夫を重ね、問題を解決してそして前進しなければならぬ。今後本誌を通して、幼稚園、保育所の先生方の意見の交換の場所とし、問題を解いていくための、一つのなかだちとしたい。皆様の御意見を寄せられることを期待し御協力をお願いする次第である。

○本号に御執筆を頂いたスクールトン先生はカナダから来られて日本の幼児教育のために日夜働いておられる。今度一年間故国に帰られるに当つて、私共日本の幼児教育に携わる者もカナダの子供達の幸福を願つて、せめて心の餞をお送りしよう。

○今月号に寄せられた鈴木先生の童話は保育の生活の中から生れてきたもので今後も保育室の中で先生方の手から生れた童話を寄せられることを希望する。

幼児の教育 第五三巻 第五号

定価金五十円

昭和二十九年四月二十五日印刷
昭和二十九年五月一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉 橋 惣 三
発行者

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願い致します。